KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

取扱説明書

MDX-01
MDX-02

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になった時に繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-4798-18 01 (CH) (J) [AP] 0004

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および海外特許に基づく許諾製品

デモンストレーションモードについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。
なお、本機の電源が入っている間に停電があったり、電源プラグを抜き差ししたりした時は、自動的にデモンストレーションモード("DEMO ON")になります。

デモンストレーションモードを解除する： "DEMO ON"中にSET/DEMOキーを押す。

デモンストレーションモードに設定する： 電源が入っている間に、2秒以上SET/DEMOキーを押す。

目次

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

⚠ 安全上のご注意 4

準備編

接続する 10
- 付属品を確かめる 10
- リモコンに乾電池を入れる 10
- 付属品を接続する 11
- 表示部の状態表示について 12
- 他の機器を接続する 13

時計を合わせる 14
放送局を記憶させる 15
- 放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット) 15
- 放送局を手動で記憶させる(マニュアルプリセット) . 17

基本編

CDを聴く 18
MDを聴く 20
ラジオを聴く 22
- 記憶させていない放送局を選ぶ 23

CDをMDに録音する(MD O.T.E.) 24

応用編

表示について 26
- CDの表示を見る 26
- MDの表示を見る 27
- バックライトを調整する 28

音質を調整する 29
- 低音と高音を強調する(EX.BASS/LOUDNESS) 29
- 低音と高音を細かく調整する(TONE) 29

CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM) 30
CDやMDを繰り返し聴く(REPEAT) 31
CDやMDを順不同で聴く(RANDOM) 31
MDの聴きたい曲をタイトルで探す 32
MDに録音する 33
CDの全曲をMDに倍速で録音する 35
CDの曲順を並べ替えてMDに録音する 36
CDの1曲目をMDに録音する(BEST HITS) 37
MDのタイトルを編集する 38
- ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける 38
- タイトルを登録する 40
- タイトルをコピーする 41

曲を1曲ずつ移動する 43
曲をまとめて移動する 44
曲をつなぐ 45
曲を分ける 46
1曲を消す 48
曲をまとめて消す 49
編集を取り消す 50
目覚ましタイマーを使う(O.T.T.) 51
プログラムタイマーを使う(PROG. 1、PROG. 2) 53
- プログラムタイマーで再生する 53
- プログラムタイマーで録音する 56

おやすみタイマーを使う(SLEEP) 58
自動的に電源を切る(A.P.S.) 58

知識編

使用上のご注意 59
デジタル録音とSCMSについて 61
故障かな?と思ったら 62
メッセージ表示の一覧 65
保証とアフターサービス 66
定格 67
各部の名前 68

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

⚠ 警告

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

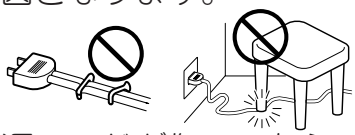
通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

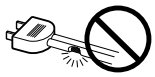
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

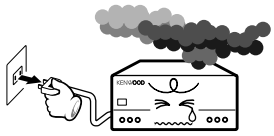


電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



⚠ 警告

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

機器の内部に水や異物を入れない

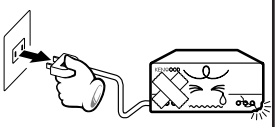
機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

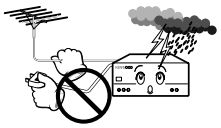
落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、また乾電池も外して、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。



電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

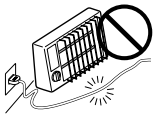
乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

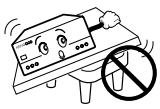
電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

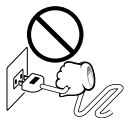
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

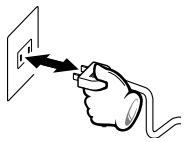
電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

長期間使用しない時や常時家庭用コンセントを使わない時は

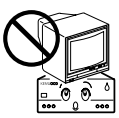
旅行などで長期間、ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また乾電池も外してください。
火災の原因となることがあります。乾電池の場合には、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

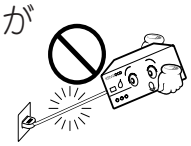
⚠ 注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

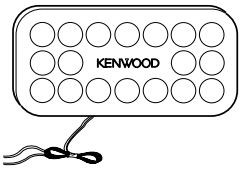
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 液が漏れた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

接続する

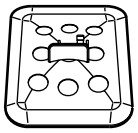
付属品を確かめる

電源コード（1個）

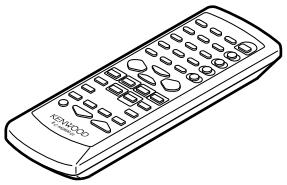
AM ループアンテナ（1個）



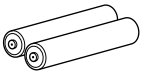
AM ループアンテナスタンド（1個）



リモコン（1個）

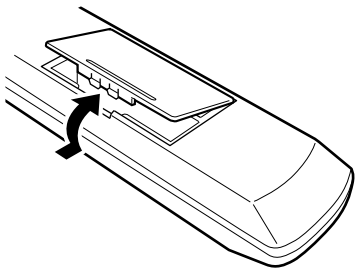


リモコン用単3乾電池（2本）

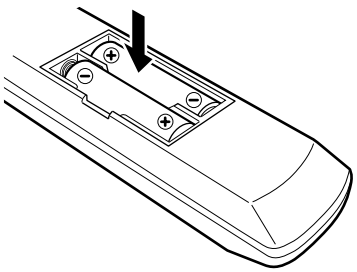


リモコンに乾電池を入れる

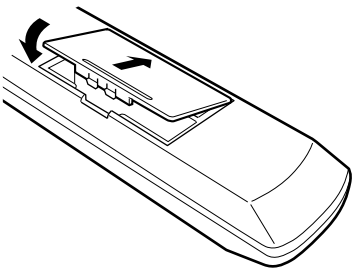
(1) リモコン裏面の乾電池ぶたを開く。



(2) 単3乾電池2個を極性マークに合わせて入れる。

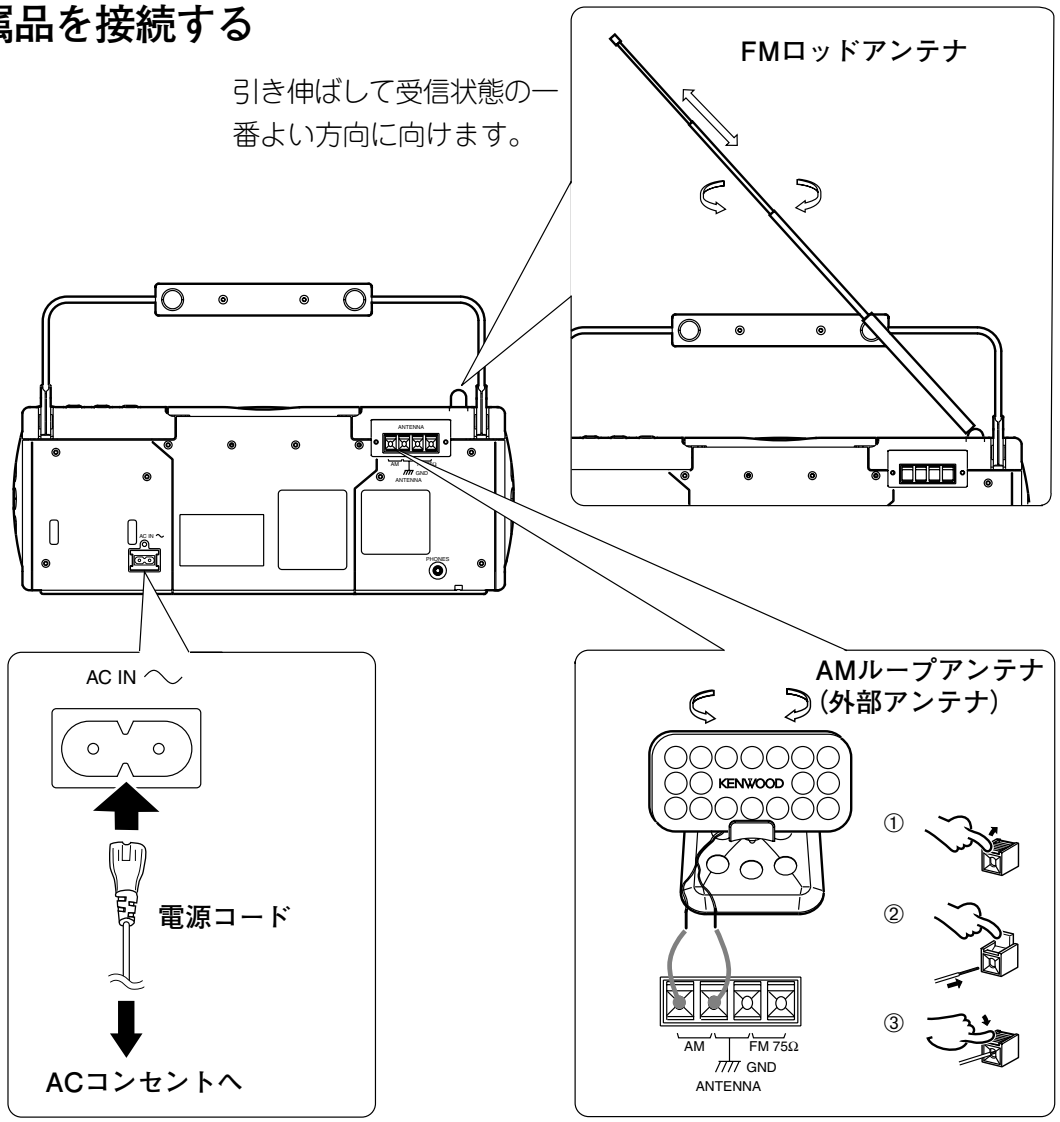


(3) 乾電池ぶたを閉める。



- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。あらかじめご了承ください。
- リモコンで操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押す時は、1秒以上の間隔をあけて押してください。
- リモコンの操作範囲の目安は、本体のリモコン受光部から約6m以内です。本体のリモコン受光部の正面に向けて操作してください。

付属品を接続する



付属の電源コードをAC100V、50/60Hzの電源コンセントへつなぎます。

- 電源コードを抜く時は、壁側のプラグから先に抜いてください。

付属のアンテナは室内用です。TVや電源コードなどからなるべく離れたところで、受信状態の一番良い方向に向けます。

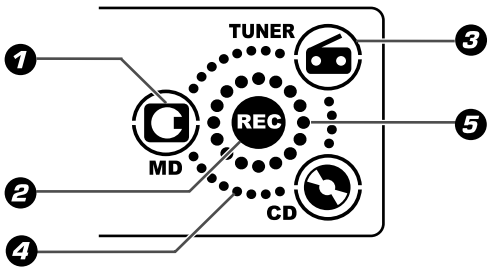
POINT

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなることや、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする時は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- テレビの近くに置かないでください。スピーカーの磁気により、テレビに色ムラが発生することがあります。
- 電源コードを抜き差しする時は、必ずスタンバイ状態にしてください。

次ページに続く→

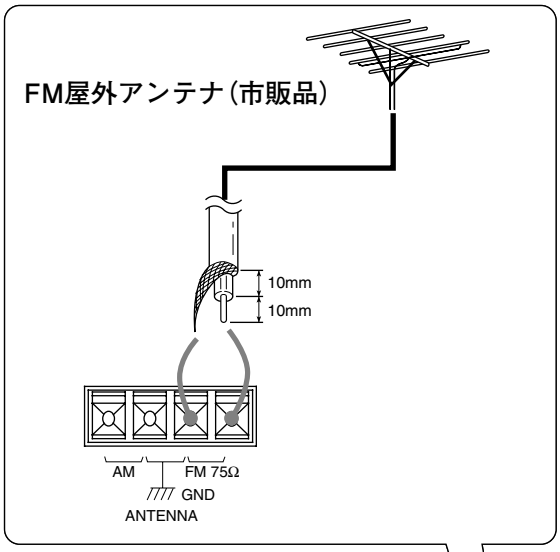
表示部の状態表示について

表示部の右側の表示部分はセレクター(ソース)の選択や動作の状態を表示しています。



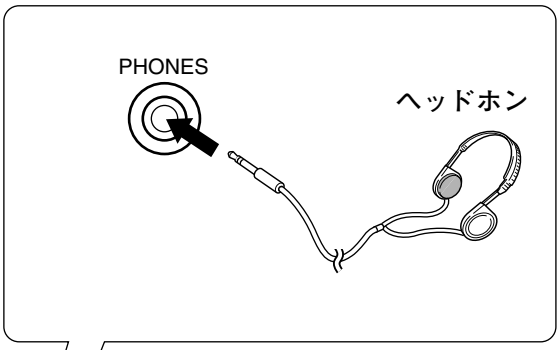
❶ CD、MD、TUNER(チューナー)の各表示(常時点灯)
❷ 録音中を示す表示
❸ 現在選ばれているセレクターの表示
❹ 録音の方向を流れで表示(例:CD→MD)
録音一時停止の時は点滅します。
❺ ボリューム表示およびPLAY(プレイ)(再生)状態とPAUSE(ポーズ)(再生一時停止)状態の表示
PAUSE(ポーズ)の時は2ポイントが点滅します。

他の機器を接続する



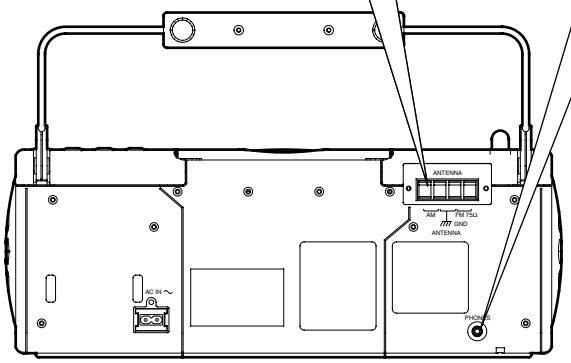
市販の75Ω同軸ケーブルを使用して屋内へ引き込み、FM ANTENNA（アンテナ）端子に接続します。

- 屋外アンテナの設置は危険を伴いますので、販売店または専門の技術者にご依頼ください。



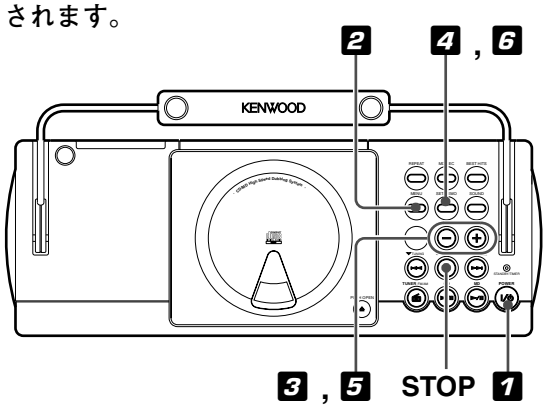
別売のステレオミニプラグ付きのヘッドホンをつなぎます。

- スピーカーで聴く時は、ヘッドホンをPHONES端子から外してください。



時計を合わせる

タイマー機能を利用できるように、本機の時計を合わせてください。時間は12時間表示で表示されます。



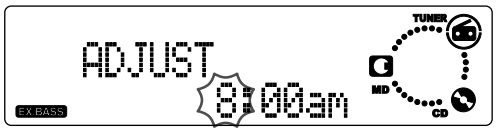
本体のみ

1 POWER(パワー)I/⏻キーを押して、電源を入れる

2 MENU(メニュー)キーを3秒以上押す

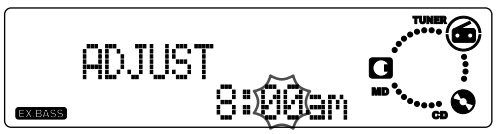
3 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、"時"を合わせる

午前8時7分に合わせる例

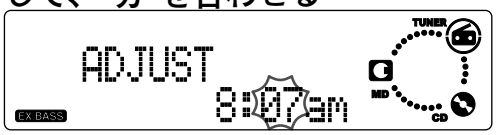


昼の12時は"12:00pm"、夜の12時は"12:00am"と表示されます。

4 SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す



5 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、"分"を合わせる



6 SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す

時刻を確認するには

スタンバイ状態中にSTOP(ストップ)■キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押します。

POINT

- 停電があった時や、電源プラグをコンセントから抜いた時は、もう一度時刻合わせをしてください。
- 時報と同時にSET(セット)/DEMO(デモ)キーを押すと、正確な時刻合わせができます。

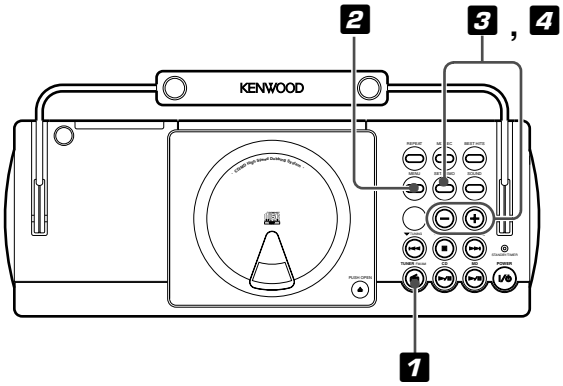
放送局を記憶させる

オートプリセット、マニュアルプリセット合わせて最大40局まで記憶させることができます。

放送局を自動的に記憶させる

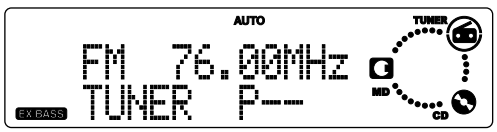
(オートプリセット)

お住まいの都道府県名を選択して、近くで受信できる放送局を自動的にプリセット(記憶)することができます。プリセットされたFM放送を受信する時は、放送局名が表示されます。



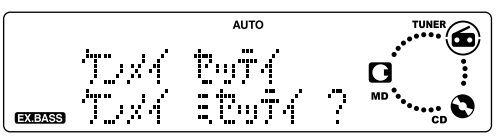
本体のみ

1 TUNER(チューナー) FM/AMキーを押す



2 MENU(メニュー)キーを押す

3 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ) (+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して"ケンメイセッテイ?"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す

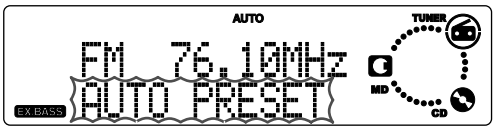


4 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ) (+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、お住まいの都道府県名を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す

都道府県名は五十音順に並んでいます。

オートプリセットが始まり、表示部に"AUTO(オート) PRESET(プリセット)"が点滅します。

先にFM放送局をメモリーし、次にAM放送局をメモリーします。



オートプリセットが終了すると、最初にプリセットされた放送局名が表示されます。

放送局名の表示を変えるには

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。

希望する放送局名が表示されない時は、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押して放送局名を変えます。

POINT

- 表示される放送局名は「エリア別FM放送局名自動表示リスト」(16ページ)に記載されている局のみです。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局を良好に受信できない場合があります。

オートプリセットで放送局が記憶されない時は、マニュアルプリセットで記憶させてください(17ページ)。

次ページに続く→

エリア別FM放送局名自動表示リスト（2000年4月現在）

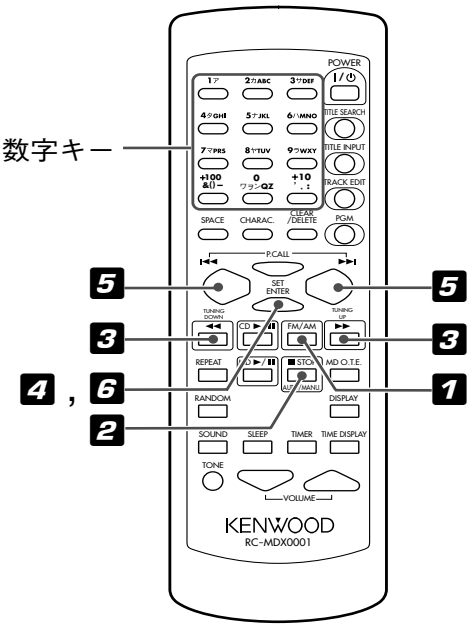
	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co-much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fmyokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ

	放送局	表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファ Station
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
中国・四国地方	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	PassionWave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一	NHKラジオ 1
	FEN沖縄	FENオキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

放送局を手動で記憶させる

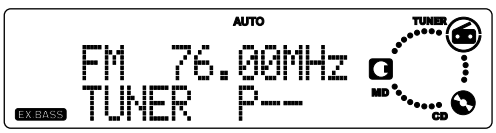
(マニュアルプリセット)

お好みの放送局だけを選んで、1局ずつ記憶(プリセット)できます。



リモコンのみ

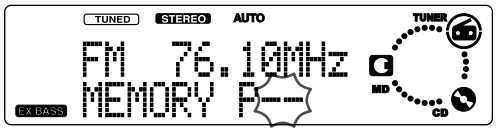
1 FM/AMキーを繰り返し押して、"AM"または"FM"を選ぶ



2 AUTO/MANU.キーを繰り返し押して、"AUTO"を点灯させる

3 ◀◀キーまたは▶▶キーを押して、記憶させたい放送局を受信する

4 受信中にENTERキーを押す



5 P--点滅中に、I◀◀キーまたは▶▶I キーを押して、プリセットナンバーを選ぶ

I◀◀キーまたはI▶▶Iキーを押したままにすると、プリセットナンバーをスキップします。

数字キーで選ぶこともできます。

例: 13局目:+10、3

20局目:+10、+10、0

6 もう一度ENTERキーを押す

続けてプリセットするには

手順1〜6を繰り返します。

電波の弱いラジオ局をプリセットするには

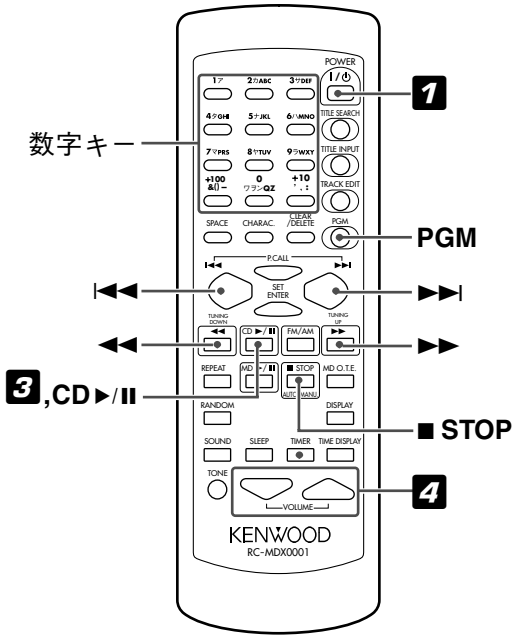
手順2でAUTO/MANU.キーを押して"AUTO"を消灯させ、マニュアル選局にします。

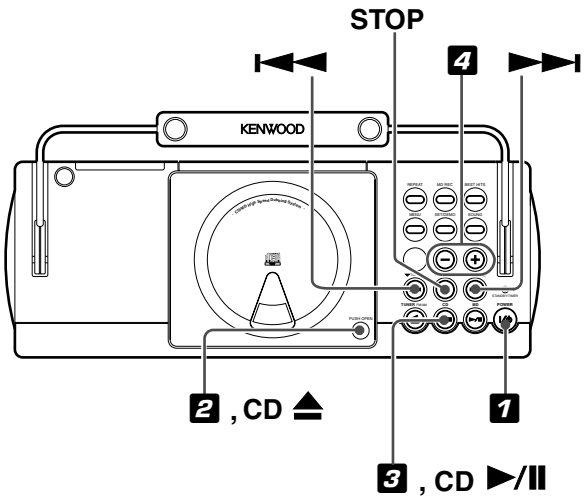
POINT

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

CDを聴く

CDを再生してみましょう。





1 POWER(パワー)I/⏻キーを押して、電源を入れる

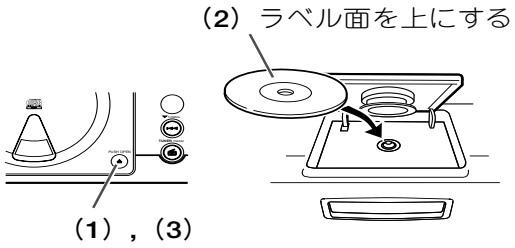
2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

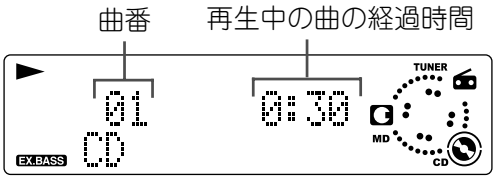
(1) CDドアの "PUSH OPEN(プッシュ オープン)⏏ " 部分を押して、CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) CDドアを閉める。



3 CD▶/IIキーを押す



4 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、音量を調整する。または、リモコンのVOLUMEキーを押す。

キーの操作

目的	操作
停止する	STOP■キー(リモコンの■STOPキー)を押す。
一時停止する	CD ▶/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶ時は、▶▶|キーを押す。 前の曲を選ぶ時は、|◀◀キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 **例:**10曲目:+10、0　23曲目:+10、+10、3 "PGM"が点灯している時は、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには

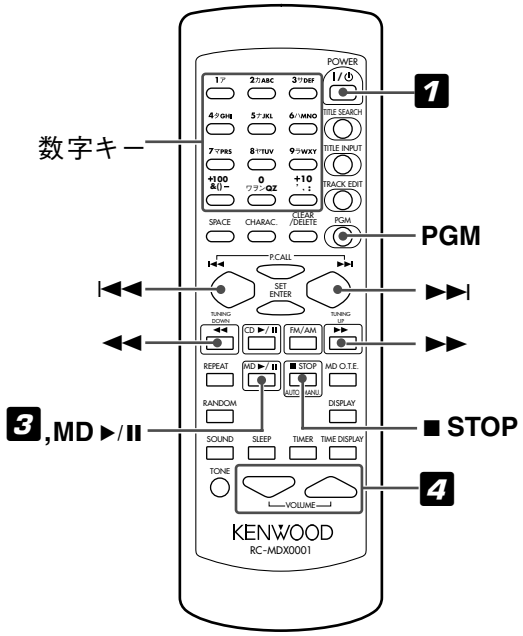
再生を止めてから、CDドアの "PUSH OPEN⏏ " 部分を押して、CDドアを開ける。

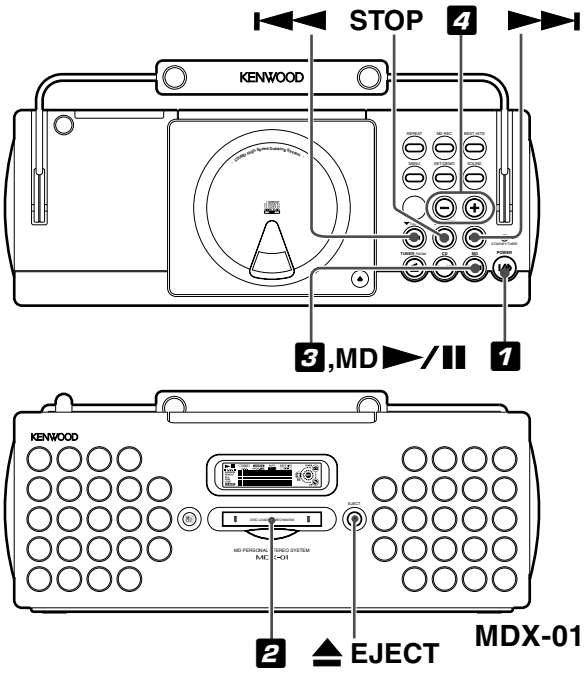
POINT

- 無理にCDドアを開閉すると、故障の原因となります。
- あらかじめCDを入れておくと、スタンバイ状態中にCD ▶/❚❚キーを押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります(ワンタッチオペレーション)。
- CD-TEXT対応のCDを再生すると、CDに収録されているテキスト情報 (ディスクのタイトルまたは曲のタイトル)を自動的に表示します(26ページ)。
- 再生できるCDについては、「本機で使用できるディスクについて」(60ページ)をご覧ください。

MDを聴く

MDを再生してみましょう。

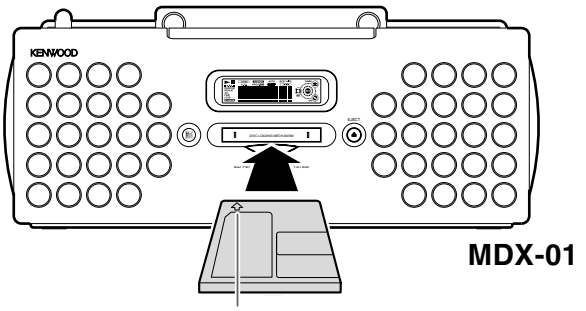




1 POWER(パワー)I/⏻キーを押して、電源を入れる

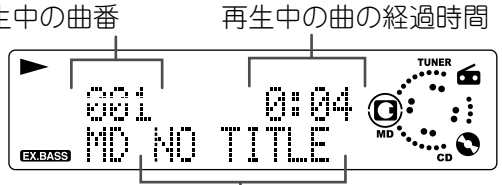
2 MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。



矢印の方向に入れる

3 MD ▶/IIキーを押す



曲のタイトル

4 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、音量を調整する。または、リモコンのVOLUME(ボリューム)キーを押す。

キーの操作

目的	操作
停止する	STOP■キー(リモコンの■STOPキー)を押す。
一時停止する	MD▶/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶ時は、▶▶Iキーを押す。 前の曲を選ぶ時は、I◀◀キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 **例** 10曲目:+10、0　23曲目:+10、+10、3　100曲目:+100、0 "PGM"が点灯している時は、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには

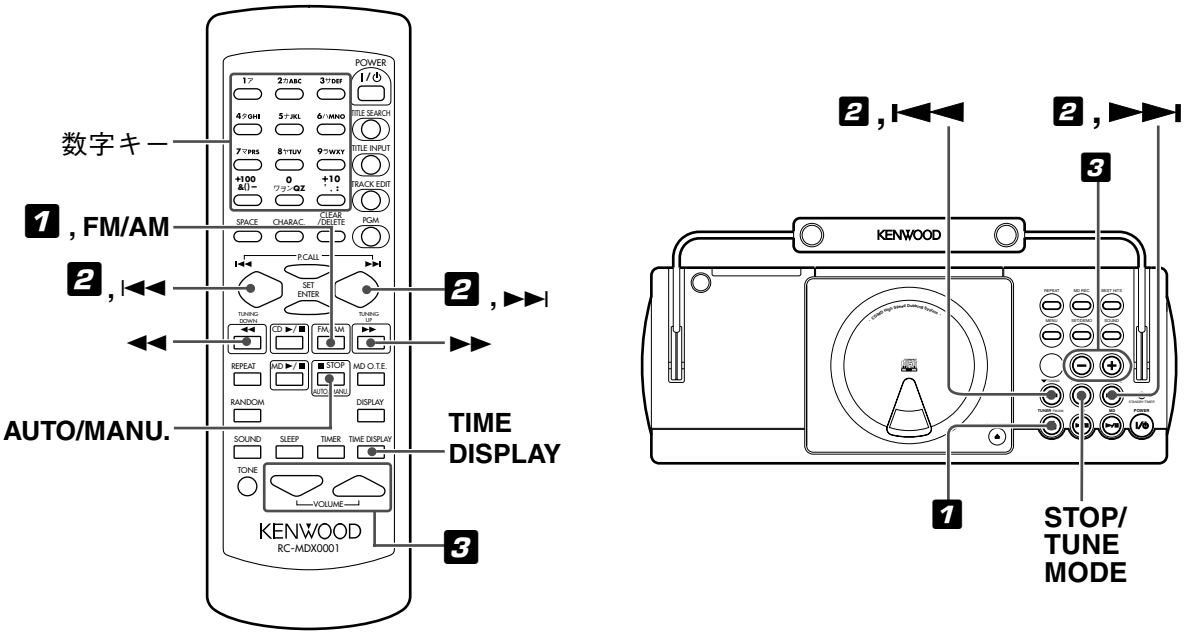
再生を止めてから、EJECT⏏キーを押します。

POINT

- スタンバイ状態では、MDを出し入れすることはできません。無理にMDを入れると、故障の原因となります。
- あらかじめMDを入れておくと、スタンバイ状態中にMD ▶/❚❚キーを押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります(ワンタッチオペレーション)。
- MDにタイトルが記録されている時は、MDに記憶されているディスクのタイトルまたは曲のタイトルが表示されます。
- 本機はモノラルモードで録音されたMDも再生することできます。

ラジオを聴く

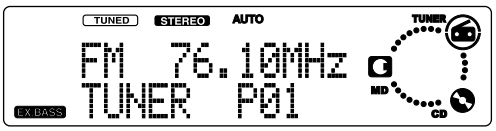
あらかじめ記憶(プリセット)させた放送局をワンタッチで選んで聴くことができます。
プリセットのしかたについては「放送局を記憶させる」(15〜17ページ)をご覧ください。



1 TUNER(チューナー)FM/AMキー(リモコンのFM/AMキー)を押す

2 I◄◄キーまたは►►Iキーを押して、放送局を選ぶ

押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。



3 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、音量を調整する。または、リモコンのVOLUME(ボリューム)キーを押す。

数字キーで放送局を選ぶには

聴きたいラジオ局のプリセット番号をリモコンの数字キーを使って入力します。

例 23局目:+10、+10、3　40局目:+10、+10、+10、+10、0

記憶させていない放送局を選ぶ

受信状態によって、オート選局とマニュアル選局に切り換えることができます。

(1) 本体のSTOP/TUNE MODEキー(リモコンのAUTO/MANU.キー)を押して、選局モードを選ぶ。

"AUTO"点灯：受信の状態が良い時はオート選局モード(ステレオ受信)を選びます。

"AUTO"消灯：雑音が入る時はマニュアル選局モード（モノラル受信）を選びます。

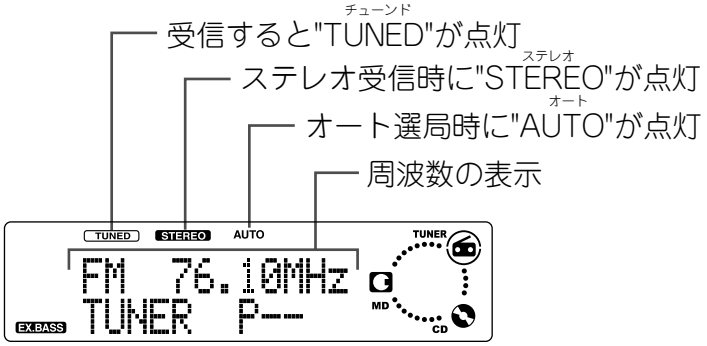
- 通常は、"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

(2) "AUTO"または"MANUAL"が表示している間に本体の⏮キーまたは⏭キーを押して選局する。

または、リモコンの◀◀キーまたは▶▶キーを押して選局する。

オート選局：押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局：希望する放送局を受信するまで押し続けます。



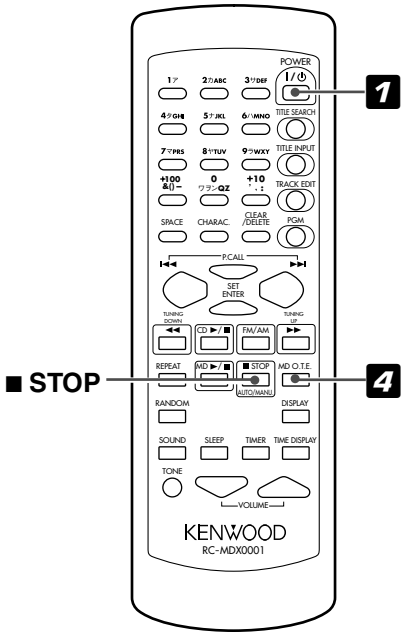
POINT

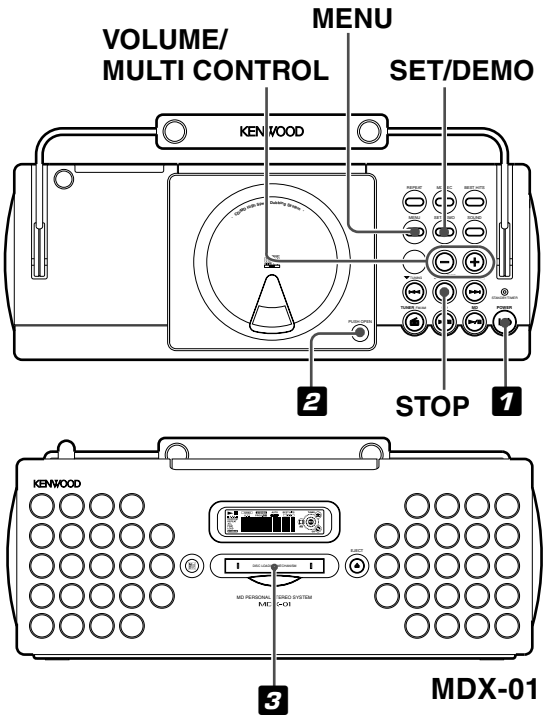
- スタンバイ状態中にTUNER FM/AMキー(リモコンのFM/AMキー)を押すだけで自動的に電源が入り、受信状態になります(ワンタッチオペレーション)。
- 選局時に⏮キーまたは⏭キーを押したままにすると放送局をスキップします。
- リモコンのTIME DISPLAYキーを押すたびに、ディスプレイの表示が交互に周波数表示と時刻表示に切り換わります。

CDをMDに録音する(MD O.T.E.)

ワンタッチエディット

CDの全曲をワンタッチでMDに録音(全曲録音)できます。今聴いている曲をワンタッチで曲の頭から録音(1曲録音)することもできます。





1 POWERI/⏻キーを押して、電源を入れる

パワー

2 CDを入れる

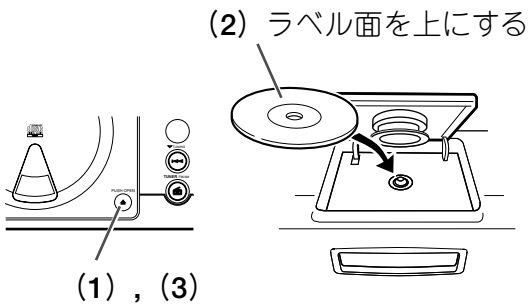
CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) CDドアの"PUSH OPEN⏏"部分を押して、CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

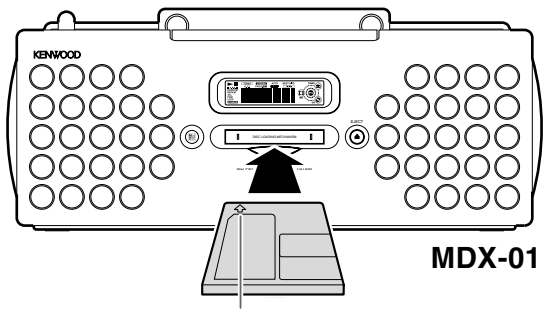
(3) CDドアを閉める。

CDが再生中の時は、停止させてください。



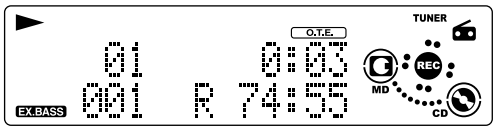
3 録音可能なMDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。



4 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

本体で操作する時は：



- **各操作は５秒以内に行ってください。**

(1) MENUキーを押す。

(2) VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して"REC MODE ?"を選び、SET/DEMOを押す。

(3) VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して"CD→MD <NORM>"を選び、SET/DEMOキーを押す。

CDの1曲目から録音が始まります。

今聴いているCDの曲を録音する(1曲録音)

(1) 録音したいCDの曲を再生する。

(2) リモコンのMD O.T.E.キーを押します。

本体で操作する時は：

- **各操作は５秒以内に行ってください。**

(1) MENUキーを押す。

(2) VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して"REC MODE ?"を選び、SET/DEMOを押す。

(3) VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して"CD→MD <NORM>"を選び、SET/DEMOキーを押す。

再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でとめるには

STOP■キー(リモコンの■STOPキー)を押します。
再生、録音とも停止します。

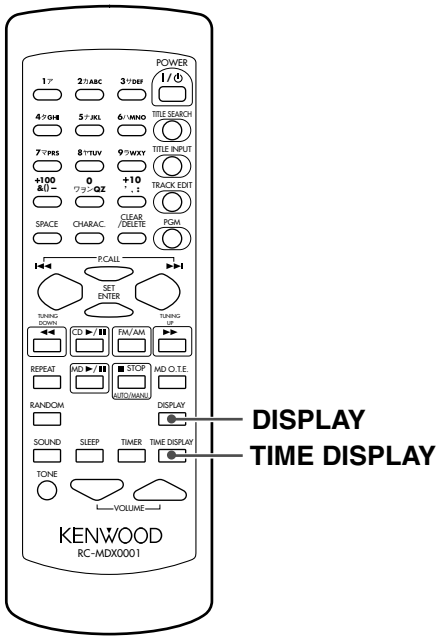
POINT

- "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- 録音可能なMDついては、「MDの取り扱いかた」(60ページ)をご覧ください。

表示について

CDやMDの時間表示や情報を見たり、表示部の明るさを調整することができます。

CDの表示を見る

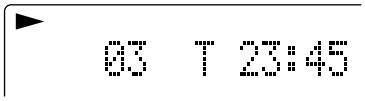


リモコンのTIME（タイム） DISPLAY（ディスプレイ）キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

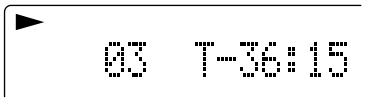
1. 再生中の曲の経過時間

2. 再生中の曲の残り時間

3. ディスク全体の経過時間



4. ディスク全体の残り時間



POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生の時は、1と2のみ表示します。
- 表示時間の合計が100分以上になると、"- - - : - - "と表示されます。

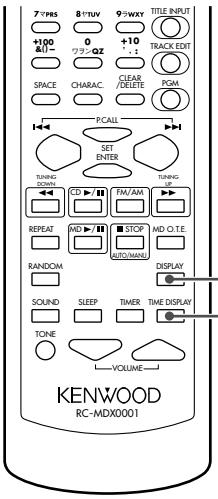
CD TEXT（テキスト）機能について

本機では、CD-TEXT（テキスト）対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。

CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。

表示できる文字数は1000文字までです。それ以上は"TEXT（テキスト） FULL（フル）"と表示されます。

MDの表示を見る



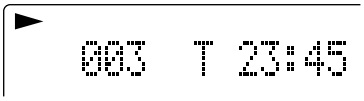
リモコンのTIME（タイム） DISPLAY（ディスプレイ）キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

再生の時

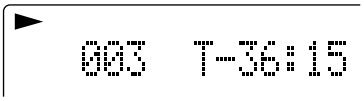
1. 再生中の曲の経過時間

2. 再生中の曲の残り時間

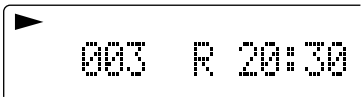
3. ディスク全体の経過時間



4. ディスク全体の残り時間



5. ディスク全体の空き時間



POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生の時は、1と2のみ表示します。
- 表示時間の合計が100分以上になると、"- - - : - - "と表示されます。

録音の時

1. ディスクの録音可能時間

2. 録音中の曲の経過時間

8秒後に1の表示に戻ります。

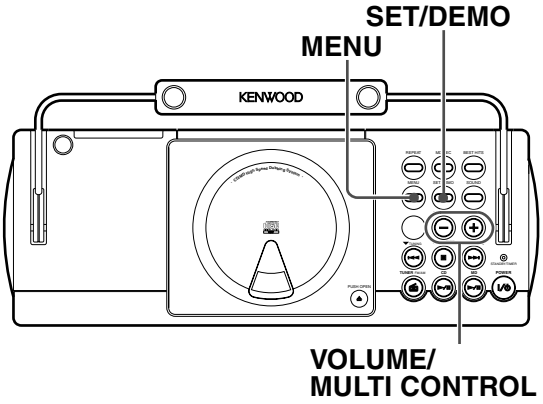
ディスクのタイトルや曲のタイトルを見るには

MDにディスクのタイトルが記憶されている時は、停止中にディスクのタイトルを自動的に表示します。
MDに曲のタイトルが記憶されている時は、再生中に曲のタイトルを自動的に表示します。
タイトルが表示部に表示しきれない時はリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）キーを押します。
表示がスクロールされ、表示されていなかった部分を確認することができます。

POINT

- タイトルが登録されていない時は、"NO（ノー） TITLE（タイトル）"が表示されます。
- CDからMDへの録音中、曲の録音経過時間を表示している時にTIME（タイム） DISPLAY（ディスプレイ）キーを押すと、CDの時間表示が切り換わります。

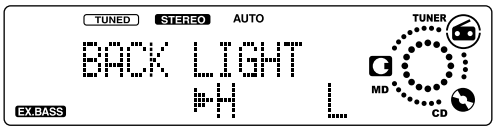
バックライトを調整する



本体のみ

1 MENU(メニュー)キーを押す

2 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(−)キーを操作して"BACK(バック) LIGHT(ライト) ?"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)を押す



3 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(−)キーを操作して、好みの明るさを選び、SET(セット)/DEMO(デモ)を押す

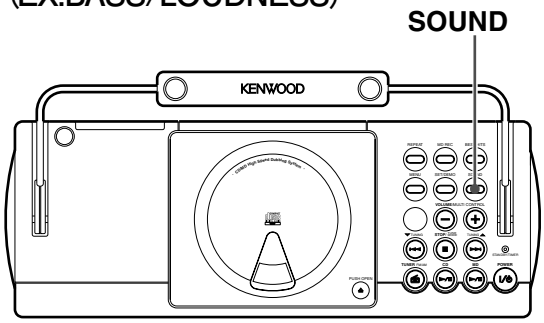
H：通常の明るさになります。
L：明るさを押さえます。

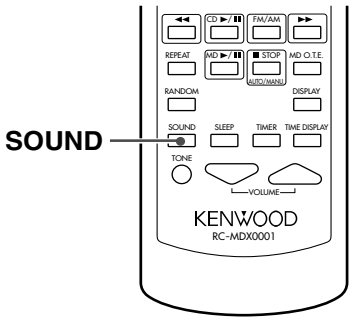
POINT

- おやすみタイマーを実行している時は、バックライトを調整することはできません。
- "L"に設定している時は、キー操作などをすると表示部が一瞬明るくなります。

音質を調整する

低音と高音を強調する (EX.BASS/LOUDNESS)





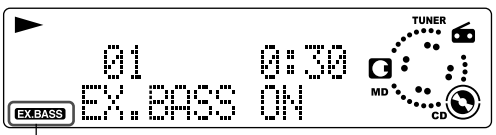
SOUNDキーを繰り返し押して、好みの音質を選ぶ

"EX. BASS"：音量にかかわらず低音域を強調します。

"LOUDNESS"：音量に合わせて低高音域を強調します。（小音量時に有効です）

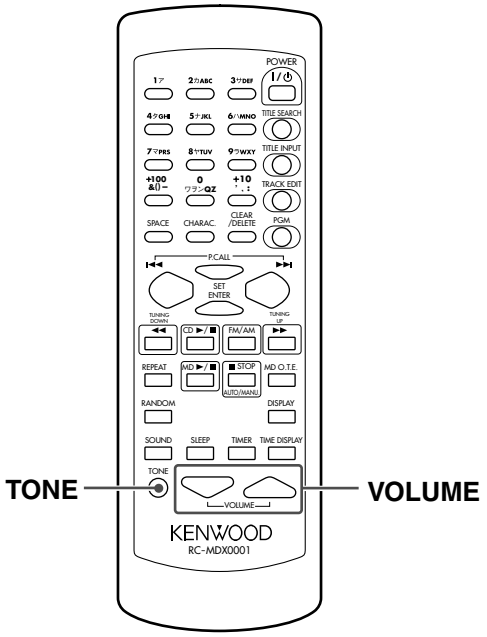
消灯：TONE機能で設定した音質になります。

EX. BASSを選んだ時



例："EX. BASS"

低音と高音を細かく調整する (TONE)

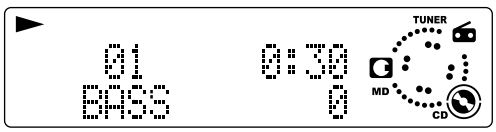


リモコンのみ

1 リモコンのTONEキーを繰り返し押して、"BASS"または"TREBLE"を選ぶ

"BASS"：低音域を調整します。

"TREBLE"：高音域を調整します。



2 VOLUMEキーを押して、好みの音質に調整する

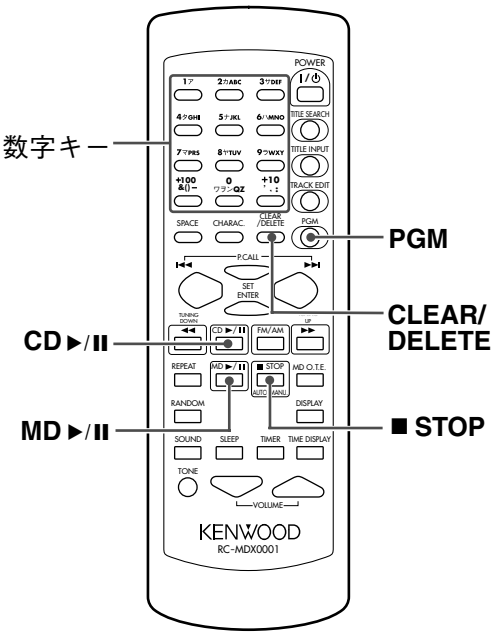
−8から+8の範囲で調整できます。

POINT

- "LOUDNESS"または"EX. BASS"が点灯中に音質を調整すると、"LOUDNESS"または"EX.BASS" は解除されます。

CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(プログラム(PGM))

好きな曲を好きな順番に、最大32曲までプログラムして聴くことができます。

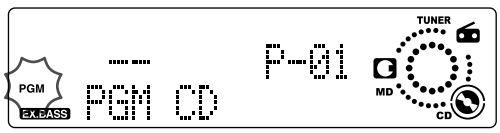


リモコンのみ

1 CDの時： CD ▶/II キーを押す
MDの時： MD ▶/II キーを押す

2 ■STOP(ストップ)キーを押す

3 PGM(プログラム)キーを押す



4 聴きたい曲を選ぶ

数字キーを押す順序の例：
23曲目:+10、+10、3
40曲目:+10、+10、+10、+10、0
（8秒以内に手順5へ進んでください。）

5 PGM(プログラム)キーを押す

2曲以上選ぶ時は、手順4, 5を繰り返します。

間違えた時は

CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート)キーを押して曲番を消し、選び直します。

6 CDの時： CD ▶/II キーを押す
MDの時： MD ▶/II キーを押す

プログラム再生をやめるには

■STOP(ストップ)キー(本体のSTOP(ストップ)■キー)を押します。

プログラムした曲を取り消すには

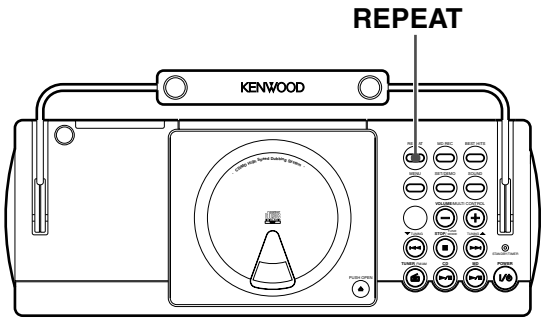
停止中にCLEAR(クリアー)/DELETE(デリート)キーを押します。押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
一度に全部消す時は、PGM(プログラム)キーを押します。

POINT

- "PGM(プログラム) FULL(フル)"と表示されると、それ以上曲を選ぶことはできません。

CDやMDを繰り返し聴く(REPEAT)

お気に入りの曲を繰り返し聴くことができます。プログラム再生やランダム再生の時でも利用することができます。

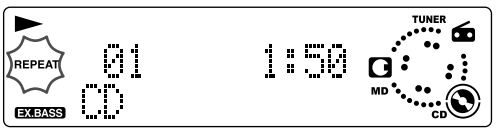


再生中にREPEATを繰り返し押して、"REPEAT"または"REPEAT ALL"を点灯させる

"REPEAT"：再生中の曲だけを繰り返します。

"REPEAT ALL"：ディスクの全曲を繰り返します。

"REPEAT"を選んだ時



リピート再生をやめるには

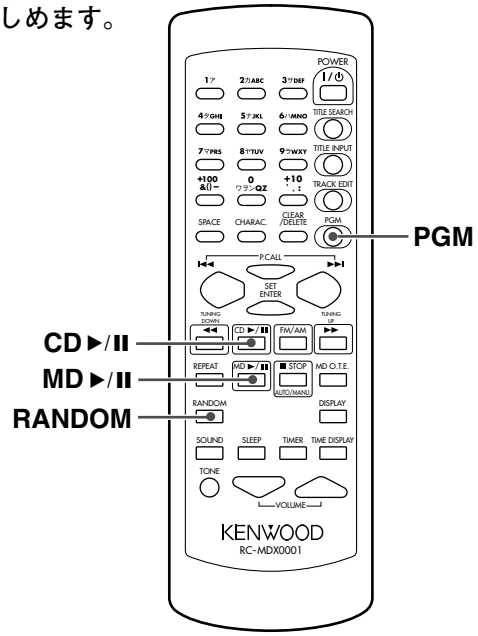
REPEATキーを繰り返し押して、"REPEAT"および"REPEAT ALL"を消灯させます。

POINT

- ランダム再生やプログラム再生の時は、"REPEAT"が点灯し、全曲を繰り返します。

CDやMDを順不同で聴く(RANDOM)

曲が順不同に再生されるので、飽きることなく楽しめます。

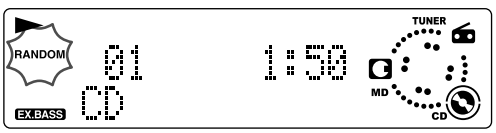


リモコンのみ

1 CDの時： CD ▶/II キーを押す　MDの時： MD ▶/II キーを押す

"PGM"が点灯している時は、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

2 RANDOMキーを押して、"RANDOM"を点灯させる



ランダム再生をやめるには

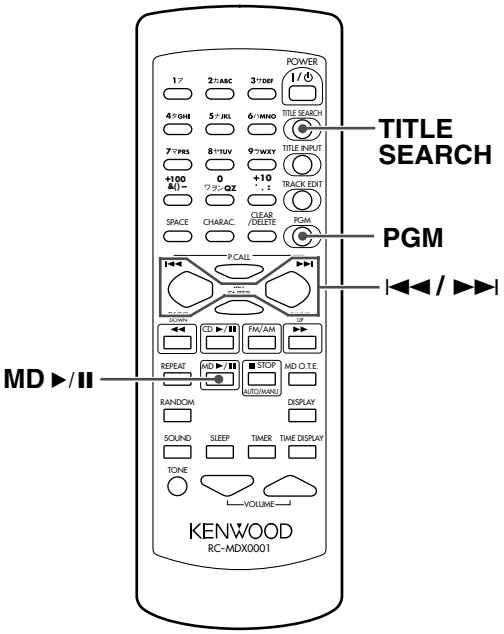
RANDOMキーを押して、"RANDOM"を消灯させます。

POINT

- 全曲の再生が1回終わると停止します。

MDの聴きたい曲をタイトルで探す

MDにタイトルを記憶させてある時は、聴きたい曲をタイトルで探すことができます。

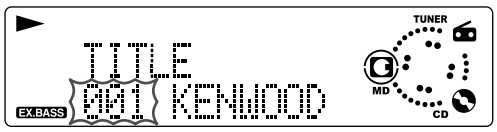


リモコンのみ

1 MD►/IIキーを押す

"PGM(プログラム)"が点灯している時は、リモコンのPGM(プログラム)キーを押して消灯させてください。

2 TITLE(タイトル) SEARCH(サーチ)キーを押す



3 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、聴きたい曲を選ぶ

4 MD►/IIキーを押す

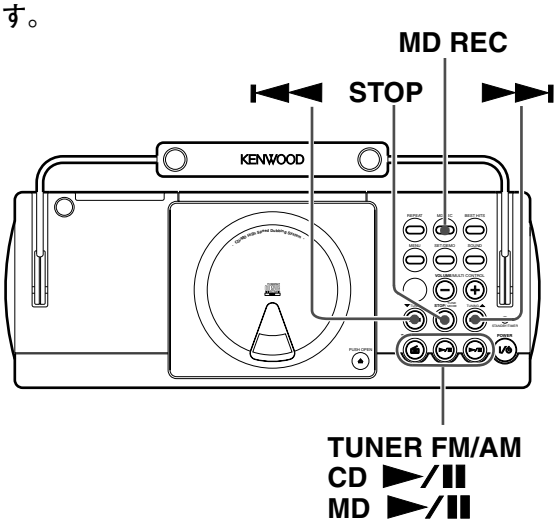
POINT

- 本機でMDにディスクのタイトルや曲のタイトルをつけることができます(38ページ)。

MDに録音する

本機では、モノラルモードでの録音はできません。

好みの音楽ソースをMDに録音することができます。



本体のみ

1 録音可能なMDを入れる

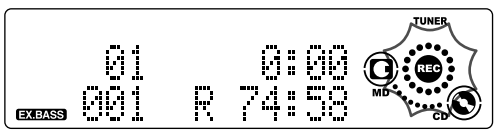
2 録音する音楽ソースを選ぶ

CD：CD ►/IIキーを押す。
ラジオ：TUNER(チューナー) FM/AMキーを押す。

すでにCDが入っている時は、再生が始まりますので、STOP(ストップ)■キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押して停止させます。

3 MD RECキーを押す

録音一時停止状態になります。



4 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度 MD RECキーを押す

5 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

STOP(ストップ)■キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押します。

録音を一時停止するには

録音中にMD ►/IIキーを押します。
この状態から再び録音を始める時は、MD REC(レック)キーを押します。

メッセージが表示されて録音できない時は

「メッセージ表示の一覧」(65ページ)をご覧ください。

CDを録音する時のポイント

CDを録音する時は、MDを録音一時停止状態にしておくと、CDの再生とMDの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

(1) CDを再生一時停止状態にする。
(2) 録音したい曲を⏮キーまたは⏭キーで選ぶ。
選んだ曲の始めで、再生一時停止状態になります。
(3) MD REC(レック)キーを押して、録音一時停止状態にする。
(4) CDの再生を始める。
シンクロ録音が開始します。

POINT

- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

次ページに続く→

録音時の曲番について

曲番は再生中に曲の頭出しをする時や、プログラムをする時に使用します。

- 下記の操作を行うと、曲番が自動的につきます。
  - ― CDからMDへのデジタル録音中に曲が切り替わる時
  - ― 音のない部分が2秒以上続いた後に次の音が入る時
  - ―クラシック音楽などで小さい音が続いた時
  - ― 録音が一時停止中にもう一度 MD REC（レック）キーを押して録音を始める時
- 録音中にリモコンのTRACK（トラック） EDIT（エディット）キーを押すと、その位置に曲番をつけることができます。
- 下記の操作を行うと、不要な曲番を消すことができます。
  - ― TRACK（トラック） ERASE（イレース）機能（48ページ）で不要な曲番を消す。
  - ― TRACK（トラック） COMBINE（コンバイン）機能（45ページ）で曲と曲をつなげて不要な曲番を消す。

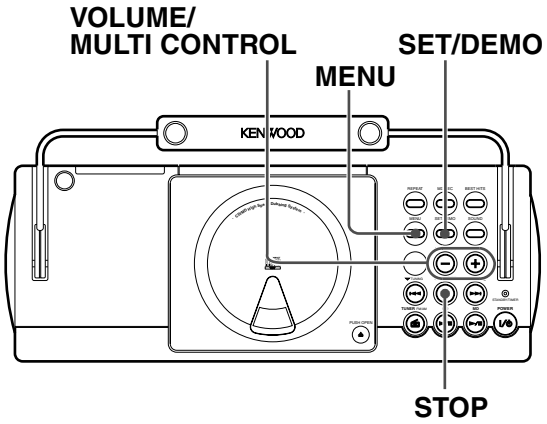
POINT

- スタンバイ状態時は、MDを出し入れすることはできません。スタンバイ状態の時に無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。
- CDをMDに録音する時は、自動的にデジタル録音になります。
  ラジオ放送をMDに録音する時は、アナログ録音になります。
- MD O.T.E.（ワンタッチエディット）録音でCDをMDに録音すると、便利です（24ページ）。

MDの録音には、CDのデジタル信号をそのまま録音する「デジタル録音」と、ラジオ放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えて録音する「アナログ録音」があります。

CDの全曲をMDに倍速で録音する

CDの全曲を通常の半分の時間で録音することができます。



本体のみ

1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3(24ページ)をご覧ください。

2 MENU(メニュー)キーを押す

3 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して"REC(レック) MODE(モード) ?"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)を押す

4 VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して"CD→MD<HIGH(ハイ)>"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す

CDが最初から再生され、倍速でMDに録音されます。

全ての曲を録音し終わると、CDとMDは自動的に停止します。

手順2～4の操作は、5秒以内に行ってください。

録音を途中でやめるには

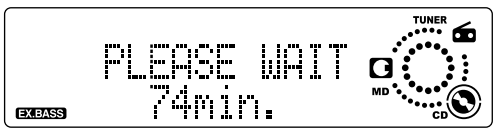
STOP(ストップ)■キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押します。

録音、再生ともに停止します。

POINT

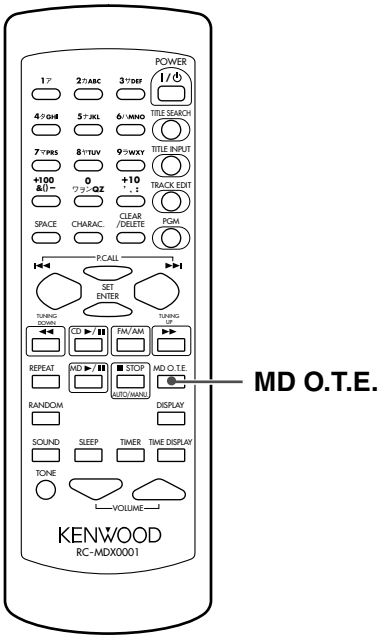
- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- いったん倍速録音"CD→MD <HIGH(ハイ)>"を始めてしまうと、録音を始めてから74分以内に同じCDを倍速録音することはできません。また74 分以内に31枚以上を続けて倍速録音することもできません。

  続けて同じCDを録音したい時は、MD O.T.E.(ワンタッチエディット)録音をしてください(24ページ)。



同じディスクの倍速録音ができるようになるまでの時間

CDの曲順を並べ替えてMDに録音する



リモコンのみ

1 録音の準備をする

MD：「CDをMDに録音する」の手順1～3（24ページ）をご覧ください。
MDは、必ず停止状態にしてください。

2 CDの曲順をプログラムする

「CDやMDの曲順を並べ替えて聴く」の手順1～5（30ページ）をご覧ください。

3 録音を開始する

MD O.T.E.（ワンタッチエディット）キーを押す。
CDがプログラムした曲順で再生され、録音が始まります。

録音を途中でやめるには

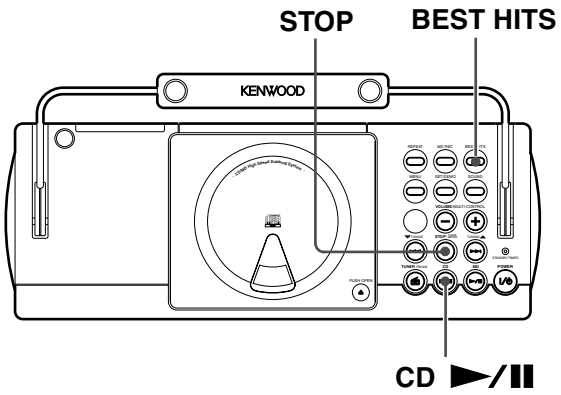
STOP（ストップ）■キー（リモコンの■STOP（ストップ）キー）を押します。
録音、再生ともに停止します。

POINT

- "WRITING（ライティング）"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING（ライティング）"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

CDの1曲目をMDに録音する(BEST HITS)

CDの1曲目を簡単に録音できます。シングルCDなどの1曲目をまとめてMDに録音する時に便利です。



本体のみ

1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3(24ページ)をご覧ください。

2 CD►/IIキーを押す

3 STOP■キーを押す

"PGM"が点灯している時は、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

4 BEST HITSキーを押す

録音が始まります。
CDの1曲目の録音が終わると、CDとMDは自動的に停止します。

5 CDを交換して、BEST HITSキーを押す

この手順を繰り返して、次々にCDの1曲目を録音していきます。

録音を途中で止めるには

STOP■キー(リモコンの■STOPキー)を押します。
録音、再生ともに停止します。

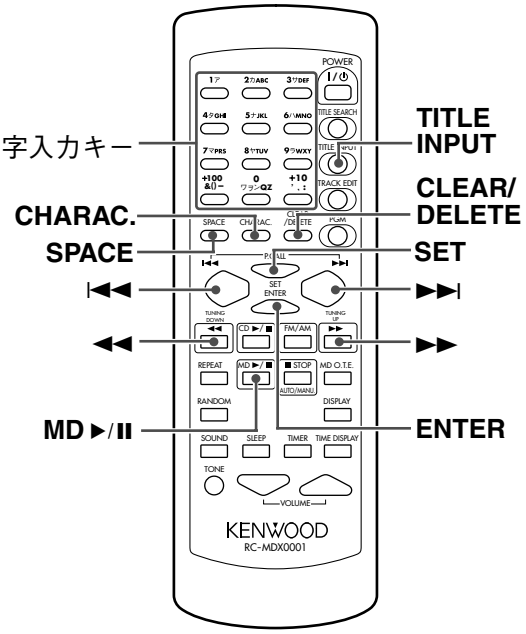
POINT

- "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

MDのタイトルを編集する

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける

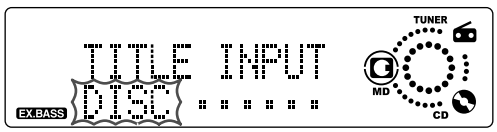
ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけておくと、再生の時に表示されます。
聴きたい曲をタイトルで探す時に便利です。



リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 TITLE INPUTキーを押す

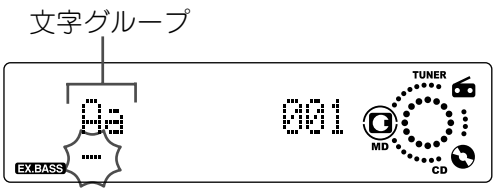


3 I◄◄または►►Iキーを繰り返し押して、"DISC"またはタイトルをつけたい曲番("001"…)を選ぶ

4 SETキーを押す

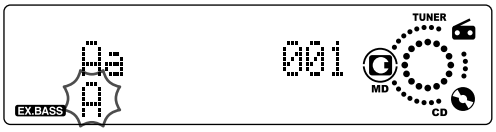
5 CHARAC.キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ

"Aa"：アルファベット
"12"：数字
"ア゙ァ"：カタカナ



6 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(42ページ)をご覧ください。
CLEAR/DELETEキーを押すと、点滅中の文字を消去することができます。
SPACEキーを押すと、1文字分のスペースを入力することができます。



7 SETキーを押して、選んだ文字を確定する

手順5～7を繰り返して、好みのタイトルを入力します。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。

8 タイトルを入力し終わったら、ENTERキーを押す

タイトルがMDに記録され、入力したタイトルがスクロールして表示されます。
つづけて曲のタイトルをつける時は、手順3～8を繰り返します。

9 TITLE INPUTキーを押す

10 MDを取り出す

"WRITING"表示します。

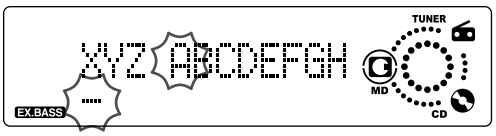
途中でやめるには

手順7までにTITLE INPUTキーを押します。また、"WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

I◀◀キーまたは▶▶Iキーで文字を入力する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4を(38ページ)行う。

(2) I◀◀キーまたは▶▶Iキーを押す。



(3) CHARAC.キーを押して文字グループを選ぶ。

英文の大文字グループ：ABC…

英文の小文字グループ：abc…

数字・記号グループ：012…

カタカナグループ：アイウ…

入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(42ページ)をご覧ください。

(4) I◀◀キーまたは▶▶Iキーを押して文字を選ぶ。

(5) SETキーを押して、選んだ文字を確定する。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。

(6) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順8～10(38、39ページ)を行う。

タイトルを変更する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4(38ページ)を行う。

(2) ◀◀キーまたは▶▶キーを押して変更したい文字を選ぶ。

(3) CLEAR/DELETEキーを押して変更したい文字を消す。

(4) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順5～10(38、39ページ)を行う。

タイトルを消去する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4(38ページ)を行う。

(2) CLEAR/DELETEキーを押す。

文字を消していきます。

「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順3(38ページ)で"ALL ERASE"を選ぶと、すべてのタイトルを一度に消すことができます。

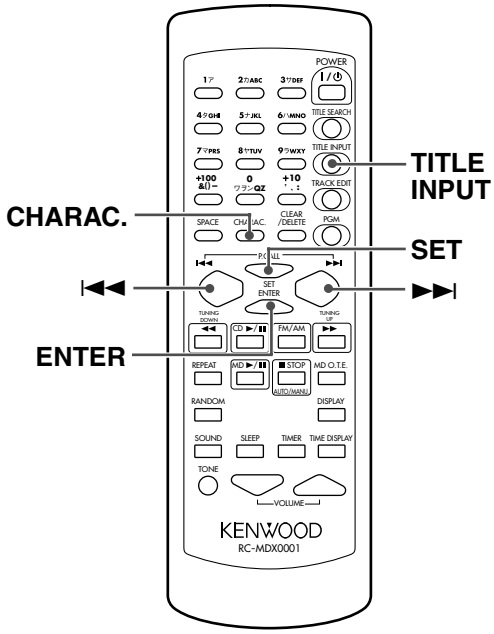
POINT

- "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- 変更したい文字が表示されない時は、◀◀キーまたは▶▶キーを押すと、カーソルが動き、隠れていた文字が表示されます。
- 曲にタイトルをつける時、「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順2(38ページ)の前にタイトルをつけたい曲を再生してからTITLE INPUTキーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。
- 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字まで入力することができます。

次ページに続く→

タイトルを登録する

よく使うタイトルを登録して、いつでも呼び出すことができます。

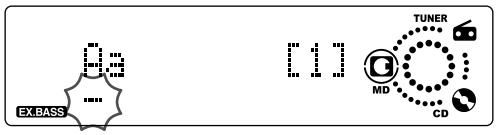


リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す

3 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、"[1]"～"[3]"のいずれかを選び、SET(セット)キーを押す



4 文字を入力する

「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順5～7(38ページ)を行う。

5 ENTER(エンター)キーを押す

MDにタイトルが記録され、タイトルがスクロールして表示されます。
続けてタイトルを登録する時は、手順3～5を繰り返します。

6 TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す

7 MDを取り出す

途中でやめるには

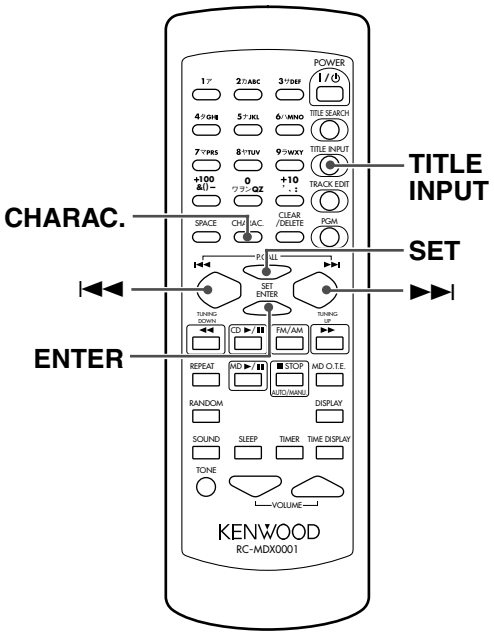
手順4までにTITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押します。

POINT

- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルをコピーする

ディスクや曲のタイトルをコピーして使うことができます。

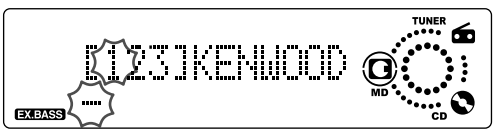


リモコンのみ

1 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順**1**～**4**(38ページ)を行う

2 ⏮キーまたは⏭キーを押す

3 CHARAC.(キャラクター)キーを繰り返し押して、"[123]"を表示させる



4 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、コピーしたいタイトルを選ぶ

"[DISC]"：ディスクのタイトル
"[001]"…：曲のタイトル
"[123]"：タイトルメモ1、2、3のいずれかに登録してあるタイトル(40ページ)

5 SET(セット)キーを押す

タイトルがコピーされます。
続けて文字を入力することもできます。

6 ENTER(エンター)キーを押す

タイトルがMDに記録され、タイトルがスクロールして表示されます。

7 TITLE(タイトル) INPUT(インプット)キーを押す

8 MDを取り出す

"WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには

手順**5**までにTITLE(タイトル) INPUT(インプット)キーを押します。
また、"WRITING(ライティング)"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

POINT

- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

次ページに続く→

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット小文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの文字入力キーで文字を選ぶ時

グループ / キー	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	[1][2][3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMN O	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy	9	ラリルレロ
0ワヲンQZ	QZqz	0	゛゜ワヲン
+10’,:	’,:?!;.”_`$		
+100&()ー	&()ー/+*=〈〉#%@		

POINT

- 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- タイトルコピーは文字入力キーでは選ぶことができません。
- リモコンのSPACE(スペース)キーを押すと、1文字分のスペースが入力されます。

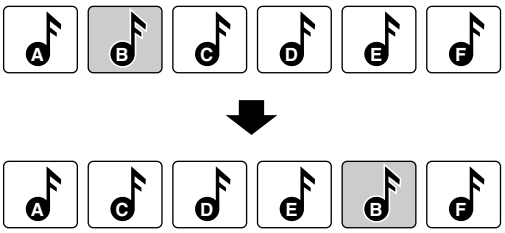
リモコンの⏮キーまたは⏭キーで文字を選ぶ時

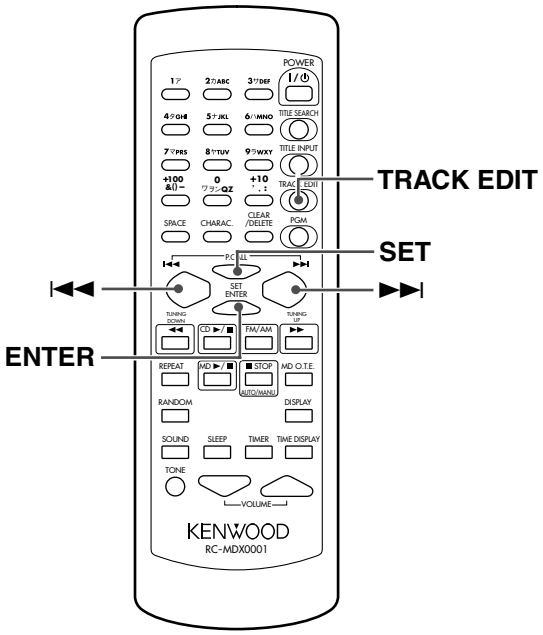
英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
数字・記号グループ	0123456789 !”#$%&’()*+,ー./:;〈=〉`?@ _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ ー
タイトルメモ／タイトルコピーグループ	[1 2 3][DISC]([001]…)

曲を1曲ずつ移動する

移動させたい曲を選んで、目的の曲番号の位置へ移動(挿入)します。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。前後の曲の曲番号は、自動的に調節されます。

曲を1曲移動するイメージ





リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 I◄◄キーまたは►►IキーIを繰り返し押して、移動したい曲番を選ぶ

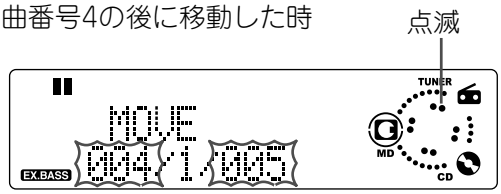
曲が再生されます。

3 TRACK EDITキーを繰り返し押して"►MOVE ?"を選び、SETキーを押す

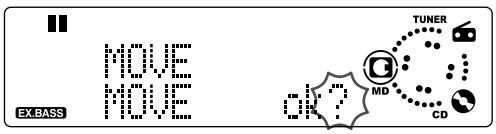
"X MOVE"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

4 I◄◄キーまたは►►Iキーを押して、選択した曲の移動先を選ぶ

曲番号4の後に移動した時



5 SETキーを押す



6 ENTERキーを押す

7 MDを取り出す

"WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順5までにTRACK EDITキーを押します。また、"WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

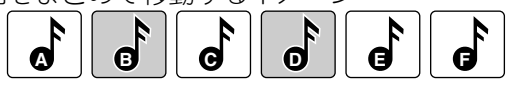
POINT

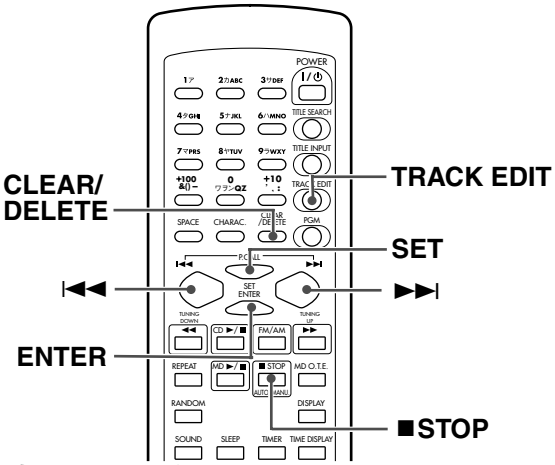
- "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲をまとめて移動する

並べたい順に曲を選んで、一度に曲を最大32曲までまとめて移動することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をまとめて移動するイメージ



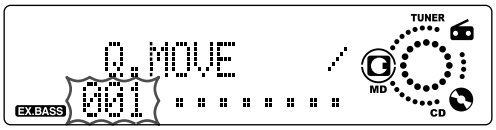


リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

MDが再生中の時は、■STOP(ストップ)キーを押して再生を停止させます。

2 TRACK EDIT(トラック エディット)キーを押して"►Q.MOVE(クイック ムーブ)"を表示させ、SET(セット)キーを押す

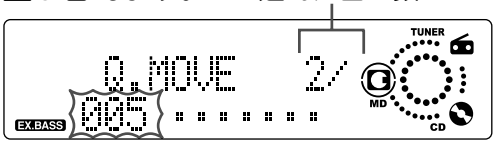


"XQ.MOVE(クイック ムーブ)"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

3 |◄◄キーまたは►►|キーを押して、移動したい曲番を選び、SET(セット)キーを押す

この手順を繰り返して、希望の曲順に並び替えます。

選んだ曲の数

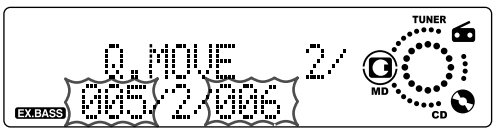


間違えた時は、CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート)キーを押して曲番を消し、選び直します。

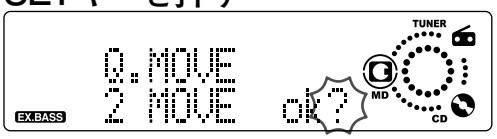
4 曲順を並び替えたら、ENTER(エンター)キーを押す

5 |◄◄キーまたは►►|キーを押して、移動先を選ぶ

曲番号5と6の間に2曲移動した時



6 SET(セット)キーを押す



7 ENTER(エンター)キーを押す

8 MDを取り出す

"WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには

手順6までにTRACK EDIT(トラック エディット)キーを押します。また、"WRITING(ライティング)"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

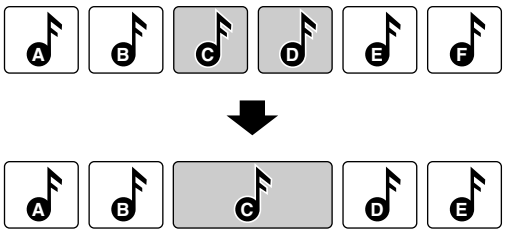
POINT

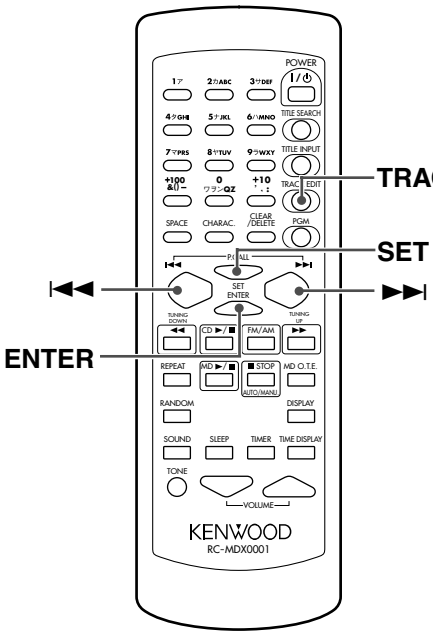
- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲をつなぐ

曲と曲をつなぐことができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をつなぐイメージ





リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 I◄◄キーまたは►►Iキーを繰り返し押して、つないだ時に前になる曲を選ぶ

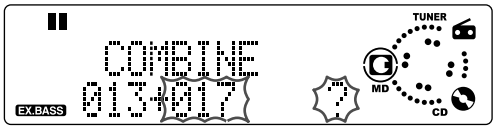
曲が再生されます。

3 TRACK EDITキーを繰り返し押して"►COMBINE ?"を選び、SETキーを押す

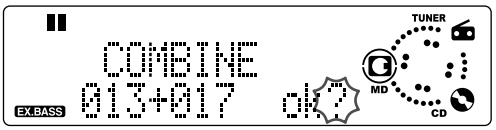
"X COMBINE"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

4 I◄◄キーまたは►►Iキーを繰り返し押して、つなぎたい曲を選ぶ

曲番号13と17をつないだ時



5 SETキーを押す



6 ENTERキーを押す

7 MDを取り出す

"WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順5までにTRACK EDITキーを押します。また、"WRITING"の表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

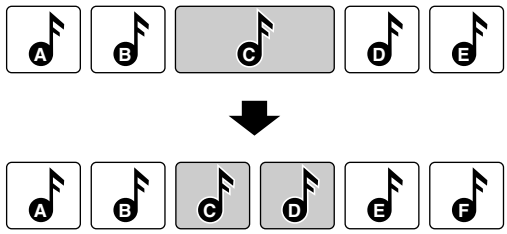
POINT

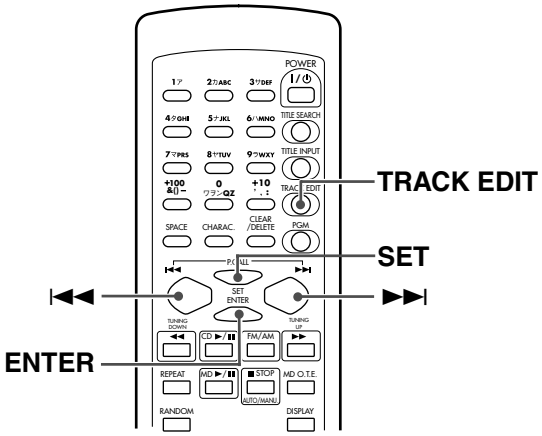
- "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分ける

曲を分割することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲を分けるイメージ





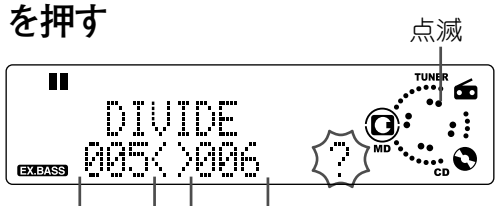
リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、分割したい曲番を選ぶ

曲が再生されます。

3 分割したいポイントでTRACK EDITキーを繰り返し押して、"►DIVIDE ?"を選び、SETキーを押す



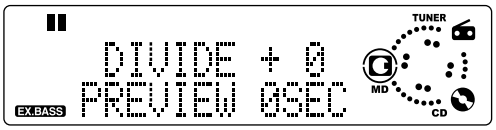
手順2で選んだ曲番

分割して新たにつけられる曲番

"X DIVIDE"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

4 もう一度SETキーを押す

曲を分けるポイントが表示され、約3秒間音が繰り返し再生されます。



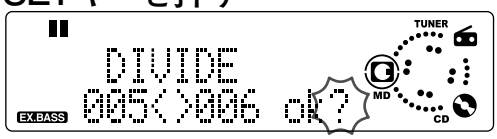
5 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、分けるポイントを調整する

繰り返される音を聴きながら調整します。

ポイントは−31〜+31まで調整することができます。

分けるポイントを変える時は、手順1からやり直します。

6 SETキーを押す



7 ENTERキーを押す

8 MDを取り出す

"WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順6までにTRACK(トラック) EDIT(エディット)キーを押します。
また、"WRITING(ライティング)"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

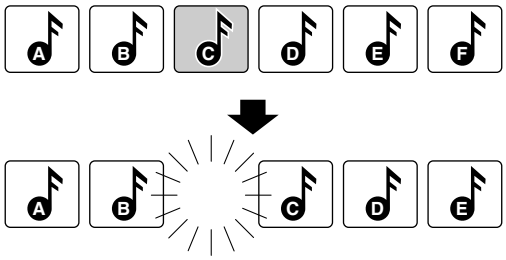
POINT

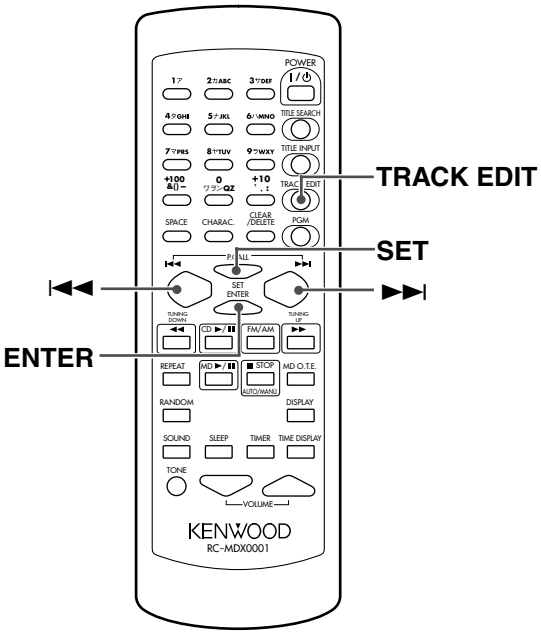
- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。

1曲を消す

再生中の曲を消すことができます。曲番号は自動的に調節されます。

1曲を消すイメージ





リモコンのみ

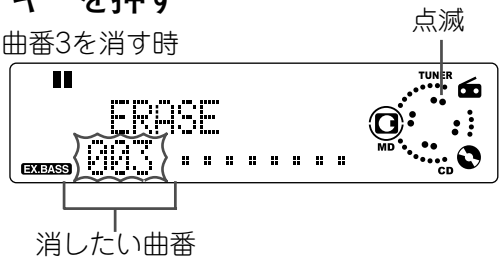
1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 |◄◄キーまたは►►|キーを繰り返し押して、消したい曲を選ぶ

曲が再生されます。

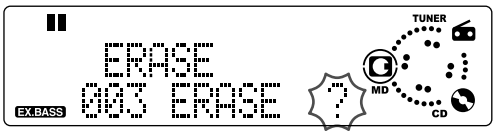
3 TRACK EDIT（トラック エディット）キーを繰り返し押して"►ERASE ?"（イレース セット）を選び、SETキーを押す

曲番3を消す時



"X ERASE（イレース）"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

4 SET（セット）キーを押す



5 ENTER（エンター）キーを押す

6 MDを取り出す

"WRITING（ライティング）"表示します。

途中でやめるには

手順4の時までにTRACK EDIT（トラック エディット）キーを押します。また、"WRITING（ライティング）"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

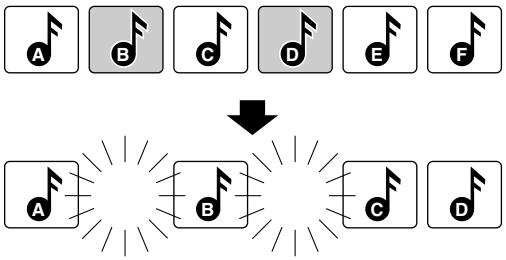
POINT

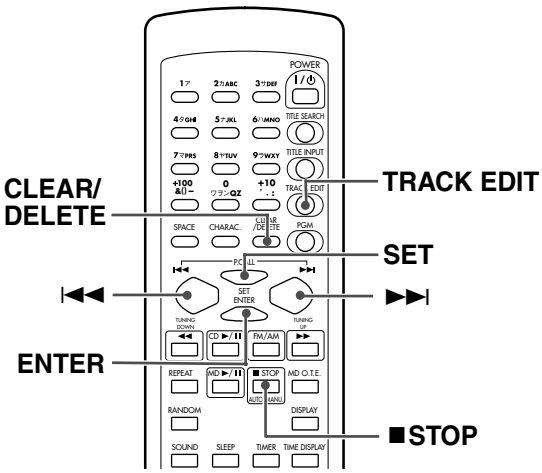
- "WRITING（ライティング）"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING（ライティング）"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲をまとめて消す

いくつかの曲を一度に最大32曲まで消すことができます。また、全曲を一度に消すこともできます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をまとめて消すイメージ



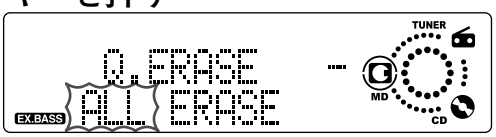


リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

MDが再生中の時は、■STOP(ストップ)キーを押して再生を停止させます。

2 TRACK(トラック) EDIT(エディット)キーを繰り返し押して"►Q.ERASE(クイック イレース)"を選び、SET(セット)キーを押す

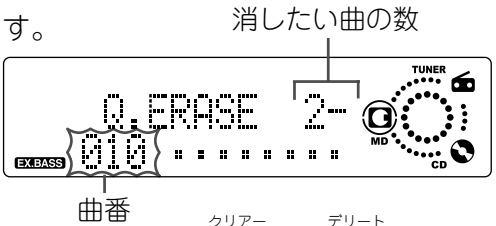


"X Q. ERASE"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

3 I◄◄キーまたは►►Iキーを繰り返し押して消したい曲番を選び、SET(セット)キーを押す

この手順を繰り返して消したい曲を選びます。

全曲を消したい時は"ALL(オール)"を選びます。



間違えた時は、CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート)キーを押して曲番を消し、選び直します。

4 ENTER(エンター)キーを押す

5 もう一度ENTER(エンター)キーを押す

編集が終了するまで、少し時間がかかります。

6 MDを取り出す

"WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには

手順4までにTRACK(トラック) EDIT(エディット)キーを押します。また、"WRITING(ライティング)"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

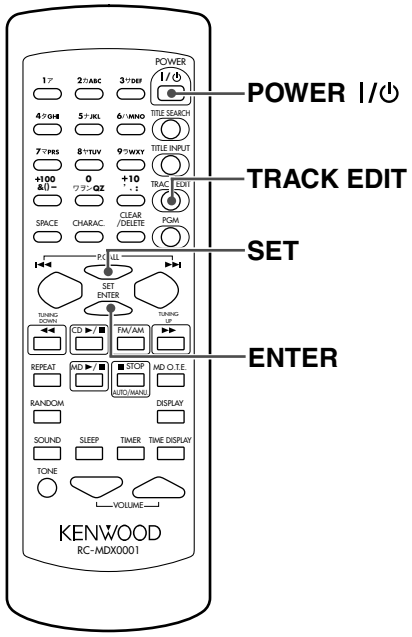
操作については、「編集を取り消す」(50ページ)をご覧ください。

POINT

- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

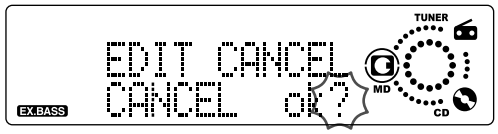
編集を取り消す

"WRITING"(ライティング)が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。



リモコンのみ

1 MDが停止中に、TRACK EDIT(トラック エディット)キーを繰り返し押して"►CANCEL"を選び、SET(セット)キーを押す



"X CANCEL(キャンセル)"が表示された場合は、以降の操作をすることはできません(60ページ)。

2 ENTER(エンター)キーを押す

3 MDを取り出す

"WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには

手順1までにTRACK EDIT(トラック エディット)キーを押します。

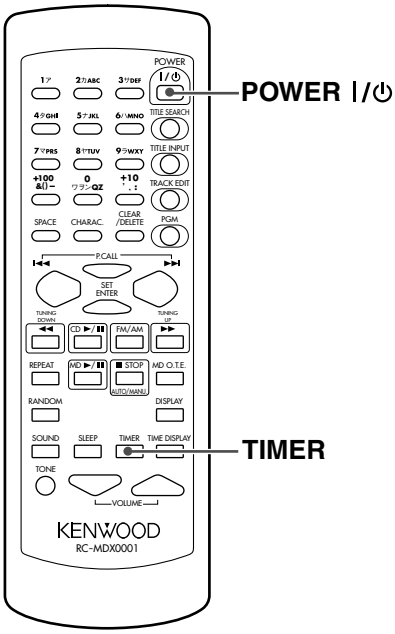
POINT

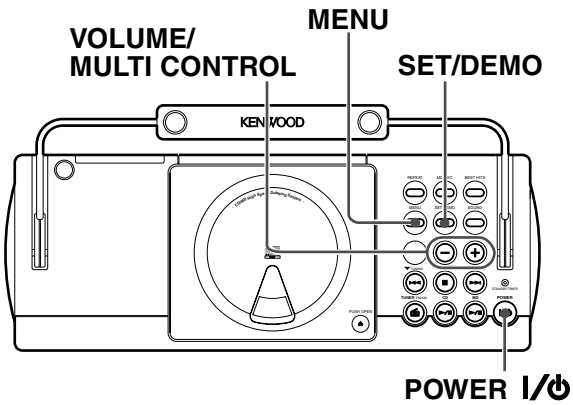
- "WRITING(ライティング)"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- "WRITING(ライティング)"は、以下の時に表示されます。
  - MD録音が終了した時
  - MDを取り出す時
  - POWER I/⏻(パワー) キーを押してスタンバイ状態にした時
- 編集する前には、取り消す作業はできません。

目覚ましタイマーを使う

(O.T.T. = Operate easy To use Timer)

時刻を合わせるだけの操作で、タイマー再生ができます。タイマー再生開始から1時間たつと、電源は自動的に切れます。設定した後の1回だけタイマーが働きます。





■ 設定する

1 入力切換を聴きたい音楽ソースに合わせ、必要な準備をする

2 VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(—)キーを操作して、音量を調節する

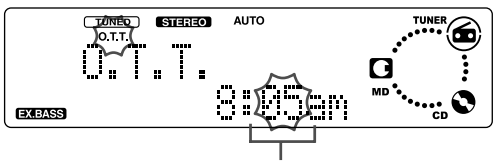
3 MENUキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(—)キーを操作して、"TIMERSET?"を選び、SET/DEMOキーを押す

5 VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(—)キーを操作して、"O.T.T. SET ?"を選び、SET/DEMOキーを押す

6 VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(—)キーを操作して、タイマーが入る時刻(オン時刻) を選ぶ

オン時刻は5分単位で設定することができます。



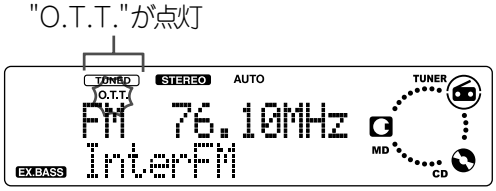
オン時刻の表示

7 SET/DEMOキーを押す

■ 実行する

8 リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"O.T.T."を点灯させる

"O.T.T."が点灯



次ページに続く→

9 POWER(パワー)I/⏻キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)インジケーターが緑色に点灯します。
目覚ましタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

目覚ましタイマーを解除するには

リモコンのTIMER(タイマー)キーを繰り返し押して、"O.T.T."を消灯させます。

同じ内容で目覚ましタイマーを再実行するには

音楽ソースの準備をしてから、リモコンのTIMER(タイマー)キーを繰り返し押して、"O.T.T."を点灯させます。

設定内容を確認したり、変更するには

手順1からやり直します。

POINT

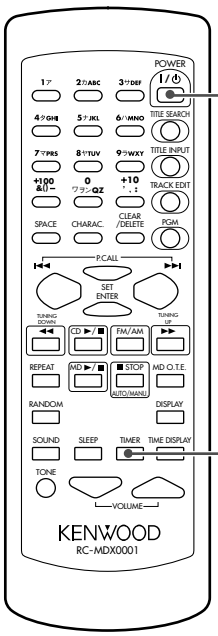
- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(14ページ)。
- STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)インジケーターが緑色に点滅している時は、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。再設定してください。
- 目覚ましタイマーでは、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- 目覚ましタイマーを解除しても、設定内容を記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定した目覚ましタイマーはそのまま残っています。

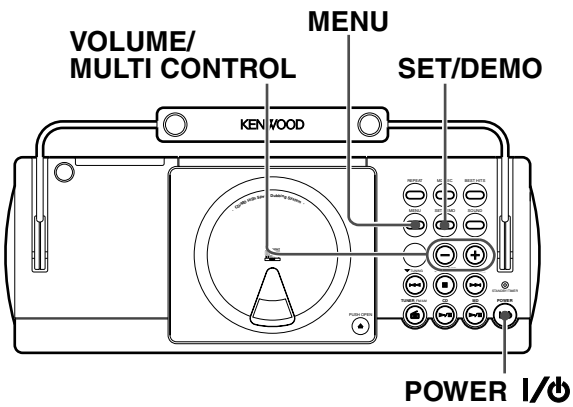
プログラムタイマーを使う (PROG. 1、PROG. 2)

2系統のタイマーが毎日指定した時刻に自動的に電源をオン／オフするよう設定することができます。

プログラムタイマーで再生する

設定した時刻に選んだ音楽ソースを聴くことができます。





■ 設定する

1 **聴きたい音楽ソースに合わせて、必要な準備をする**

CD：CDを入れる。
MD：MDを入れる。
ラジオ：オートプリセットしておく。

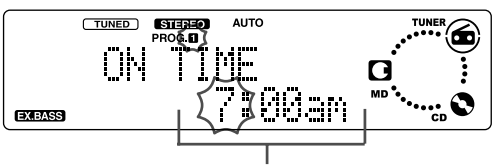
2 **MENU(メニュー)キーを押す**

3 **VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、"TIMER SET?"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す**

4 **VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して、"PROG.1 SET?(プログラム セット)"または"PROG.2 SET?(プログラム セット)"を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押す**

5 **タイマーが入る時刻(オン時刻)を選ぶ**

VOLUME(ボリューム)/MULTI CONTROL(マルチコントロール) UP(アップ)(+)またはDOWN(ダウン)(—)キーを操作して「時」を選び、SET(セット)/DEMO(デモ)キーを押します。

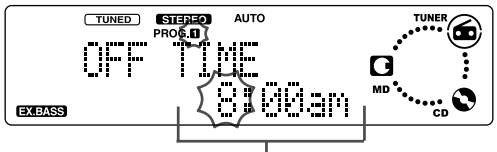


タイマーが入る時刻

同様の操作で「分」を選びます。

6 **タイマーが切れる時刻(オフ時刻)を選ぶ**

オン時刻と同様に設定します。

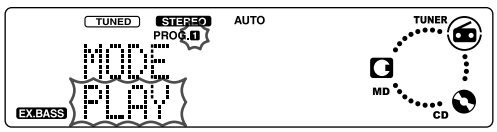


タイマーが切れる時刻

7 **VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して、"PLAY"または"AI PLAY"を選び、SET/DEMOキーを押す**

"PLAY":スタンバイ状態にする前に調整した音量で再生されます。

"AI PLAY":タイマーの再生が始まると、除々に音量が大きくなります。



8 **VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して、音楽ソースを選び、SET/DEMOキーを押す**

"CD"、"MD"、"TUNER"(ラジオ)の中から選ぶことができます。

9 **ラジオ放送を聴く時は、VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して聴きたいプリセットナンバーを選び、SET/DEMOキーを押す**

"TUNER"(ラジオ放送)以外を選んだ時は、この操作は必要ありません。

10 **VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(−)キーを操作して、音量を調節する**

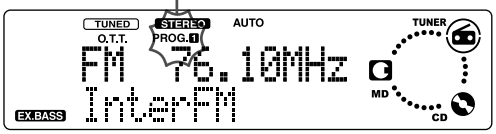
調節した音量で再生されます。

"AI PLAY"を選んだ時は、この操作は必要ありません。

■ 実行する

11 **リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、実行させたいプログラム番号("PROG. 1", "PROG. 2")を点灯させる**

プログラム番号



12 **POWER I/⏻ キーを押して電源を切り、スタンバイ状態にする**

タイマーが実行されて、スタンバイ状態になると、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。

プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"PROG. 1", "PROG. 2"を消灯させます。

設定内容を確認したり変更するには

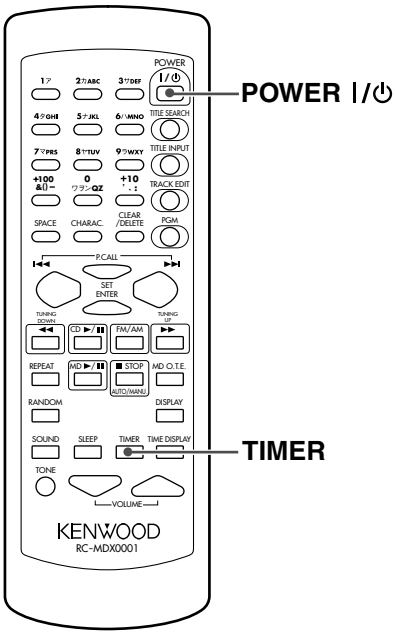
手順**1**からやり直します。

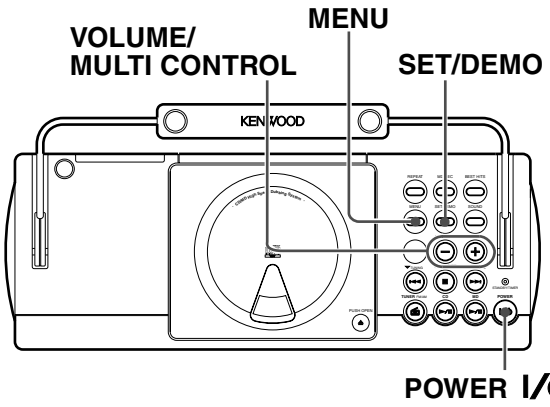
POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(14ページ)。
- タイマー再生では、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- PROG.(プログラム) 1とPROG.(プログラム) 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- タイマーを解除しても、設定内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーはそのまま残っています。
- STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)インジケーターが緑色に点滅している時は、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。

プログラムタイマーで録音する

設定した時刻にTUNER(ラジオ)の音をMDに録音することができます。





■ 設定する

1 録音の準備をする

MD：「CDをMDに録音する」の手順**1**、**3**(24ページ)をご覧ください。

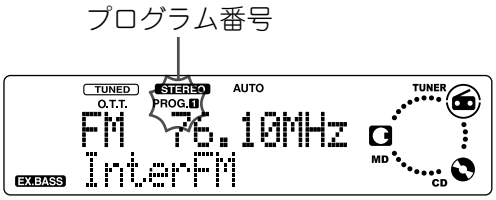
2 「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**～**6**(53～54ページ)を行う

3 VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(–)キーを操作して、"REC"を選び、SET/DEMOキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROL UP(+)またはDOWN(–)キーを操作して、録音したいプリセットナンバーを選び、SET/DEMOキーを押す

■ 実行する

5 リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、動作させたいプログラム番号("PROG. 1", "PROG. 2")を点灯させる



6 POWER I/⏻キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーがセットされて、スタンバイ状態になると、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に録音を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"PROG. 1", "PROG. 2"を消灯させます。

設定内容を確認したり変更するには

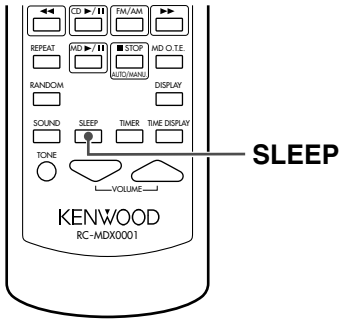
手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(14ページ)。
- PROG.(プログラム) 1とPROG.(プログラム) 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- タイマー録音の時は、スピーカーから音は出ません。
- タイマーを解除しても、設定内容は記憶されています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーはそのまま残っています。
- STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)インジケーターが緑色に点滅している時は、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。

おやすみタイマーを使う (SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に本機の電源を切ることができます。10分単位で最長90分まで設定できます。



リモコンのみ

SLEEPキーを繰り返し押して、何分後に電源を切るかを選ぶ

一回押すごとに10分ずつ増えていきます。

10→20 … 80→90→OFF→10 …

"SLEEP"が点灯

セットした時間が過ぎると、自動的に本機の電源が切れます。

残り時間を確認する

おやすみタイマー実行中にSLEEPキーを押します。

タイマーを解除する

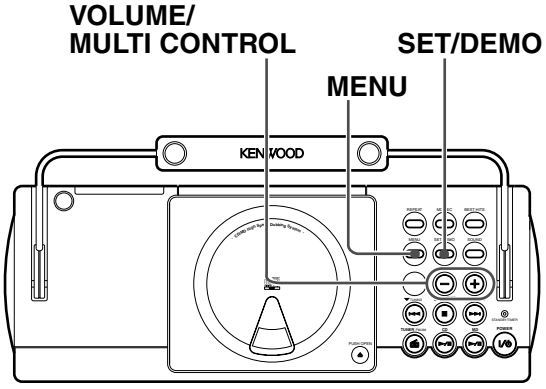
SLEEPキーを繰り返し押して、"SLEEP"を消灯させます。

POINT

- おやすみタイマー実行中はバックライトが"H"に設定されていても、"L"の明るさになります。

自動的に電源を切る (A.P.S. = AUTO POWER SAVE)

CDやMDが停止状態の時や、入力切換が"TUNER"に設定されていて音量が"0"の時に、30分以上放置すると自動的に電源を切れるように設定することができます。電源の切り忘れを防止するために便利です。

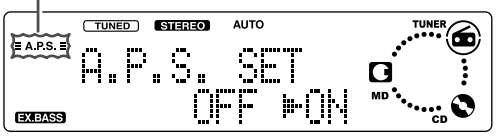


1 MENUキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROL UP (+)またはDOWN(−)キーを操作して、"A.P.S. SET ?"を選び、SET/DEMOキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROL UP (+)またはDOWN(−)キーを操作して、"ON"(入)または"OFF"(切)を選ぶ

"A.P.S."が点灯



使用上のご注意

結露についてのご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このような時には、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだ時や、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

移動時の注意点

本機を輸送する時や、移動する時は、下記の操作を行ってください。

(1) CD、MDを取り出します。
(2) MD▶/▮▮キーを押す。
(3) しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

(4) CD▶/▮▮キーを押す。
(5) しばらく待って、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

(6) 数秒間待って、電源を切ります。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れた時は、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

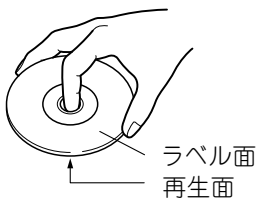
接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

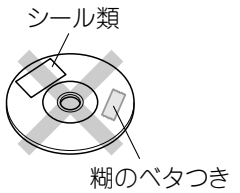
ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

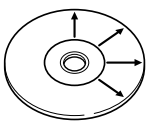


再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついた時は、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

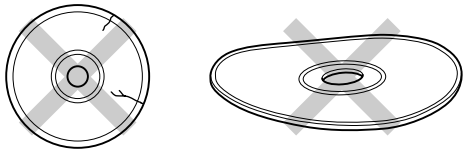
長い間使用しない時は、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRA(エクストラ)の音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOのマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。



円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

CDアクセサリーについて

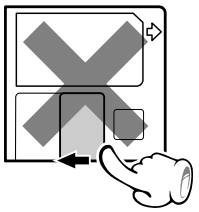
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

MDの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

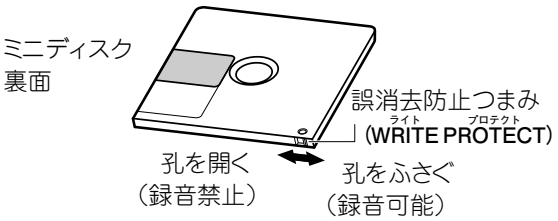
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ(WRITE(ライト) PROTECT(プロテクト))を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



POINT

- 録音禁止にすると、表示部に"PROTECTED(プロテクテッド)"と表示します。
- MDが録音禁止になっていたり、MDの曲数が少なくて編集できない場合など、何らかの編集できない状態の時は、"× ○○○○○"を表示します。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くと消えるメモリーの内容

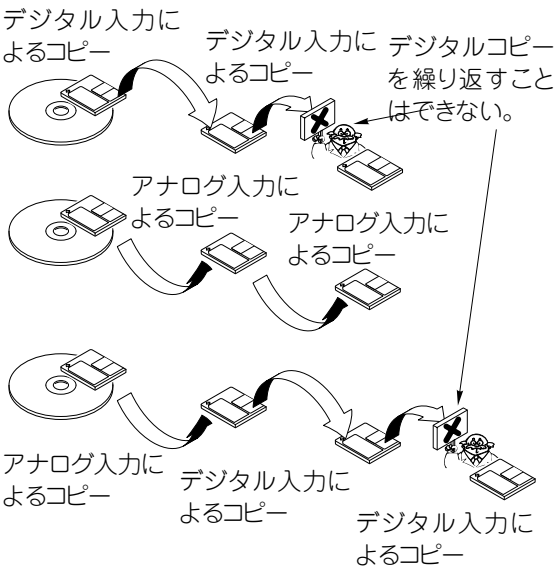
－時計表示(75分で消える)
－MDレコーダー部(すぐに消える)

電源プラグをコンセントから抜くと最低1日で消えるメモリーの内容

- **アンプ部**
  －ラストインプットセレクター
  －ボリューム値
  －トーンコントロール値
  －タイマーの設定内容
- **チューナー部**
  －受信バンド
  －周波数
  －プリセット放送局
  －オート選局の設定

デジタル録音とSCMSについて

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話(03)5353-0336
FAX.(03)5353-0337

故障かな?と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源が入っている時に、接続コードを抜き差ししたり、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作することがあります。このような時は、リセットしてみてください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、REPEAT(リピート)キーを押しながら電源コードのプラグを差し込みます。マイコンが初期状態になり、記憶されていた内容は消去されます。

共通部

症状	対策
音が出ない。	→ 音量を上げる(18ページ)。 → ヘッドホンが差し込まれている時は抜く(13ページ)。
ヘッドホンから音がでない。	→ ヘッドホンプラグが正しく差込まれているか確認する(13ページ)。
雑音が入る。	→ 外部アンテナを道路から離して設置する(11ページ)。 → 電気器具の電源を切ってみる。 → テレビから離す。

アンプ／スピーカー部

症状	対策
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	→ 現在時刻をもう一度合わせる(14ページ)。
タイマーが作動しない。	→ 現在時刻を合わせていない、または停電があった。現在時刻を合わせる(14ページ)。 → タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する(51～58ページ)。 → リモコンのTIMER(タイマー)キーで実行指定する(51,54,56ページ)。
放送局が受信できない。	→ アンテナを接続する(11ページ)。 → 受信したい放送局の周波数に合わせる(23ページ)。
プリセットした後、P. CALL(プリセットコール)キーを押しても放送局を受信できない。	→ 受信できる周波数の放送局をプリセットする。(15～17ページ)。 → 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする(15～17ページ)。

リモコン部

症状	対策
リモコンで操作できない。	→ 新しい乾電池に交換する（10ページ）。 → 操作する位置が遠すぎる、または障害物がある。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症状	対策
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	→ 消去された曲の合計時間が12秒未満の場合は、記録可能時間は増えません。 → 編集を繰り返したMDの場合、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	→ 編集を繰り返したMDの場合、曲をつなげないことがあります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	→ 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	→ 編集を繰り返したMDの場合、音が途切れることがあります。
"READING（リーディング）"が表示される時間が長い。	→ 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間"READING（リーディング）"が表示されます。

MDレコーダー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない	→ 録音済みのMDを入れる。
録音ができない	→ 誤消去防止つまみを元に戻す（60ページ）。 → 入力切換を録音したいソースにする（33ページ）。

次ページに続く→

CDプレーヤー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ CDを正しく入れる（18ページ）。 → 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、ディスクを清掃する（59、60ページ）。 → 「結露についてのご注意」を参照し、露を蒸発させる（59ページ）。
音が飛ぶ。	→ 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、CDを清掃する（59、60ページ）。 → CDに傷がついていないか確認する。 → 振動のない場所に設置する。

メッセージ表示の一覧

メッセージ	意味
BLANK DISC	→ 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	→ 74分以内に31枚以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T COPY	→ SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。
CAN'T EDIT	→ 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
DISC ERROR	→ UTOC* の内容が異常である。"ALL ERASE"を行う(49ページ)。それができない時は、MDを取り換えてください。
DISC FULL	→ 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD NO DISC	→ MDが入っていない。
NO TRACKS	→ 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。
PLAY ONLY	→ 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
PROTECTED	→ MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする(60ページ)。
READING	→ TOC* 情報を読み込んでいる。
TEXT FULL	→ 1Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	→ 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。"入力できる文字数について"を参照してください(39ページ)。
UNIT ERROR	→ 何らかのトラブルを示します。電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直してください。
WRITING	→ 編集や録音した時の各種の情報を書き込んでいる。

* すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス

保証書　(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他 修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　)　　-

定格

アンプ部

実用最大出力 ..... 3W＋3W(EIAJ 4Ω)

チューナー部

FMチューナー部

受信周波数範囲 .....76 MHz～90 MHz

AMチューナー部

受信周波数範囲 ..... 531 kHz～1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

記録方式 ..... 磁界変調オーバーライト方式

音声圧縮方式 ..... ATRAC

D/Aコンバーター ..... 1 Bit

ワウ・フラッター(EIAJ) ..... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

D/Aコンバーター ..... 1 Bit

サンプリング周波数 ..... 8 fs (352.8 kHz)

周波数特性 (EIAJ) ..... 20 Hz～20,000 Hz

ワウ・フラッター (EIAJ) ..... 測定限界以下

スピーカー部

エンクロージャー ..... バスレフ型

スピーカーユニット .....80 mm コーン型

電源部・その他

電源電圧・電源周波数

.....AC100 V, 50Hz/60 Hz

定格消費電力

（電気用品取締法に基づく表示）.....24 W

待機時消費電力 ..... 0.25 W

最大外形寸法 ..... 幅　410 mm

（突起物含む）　高さ　170 mm

奥行　190 mm

質量（重量）..... 4.6 kg(正味)

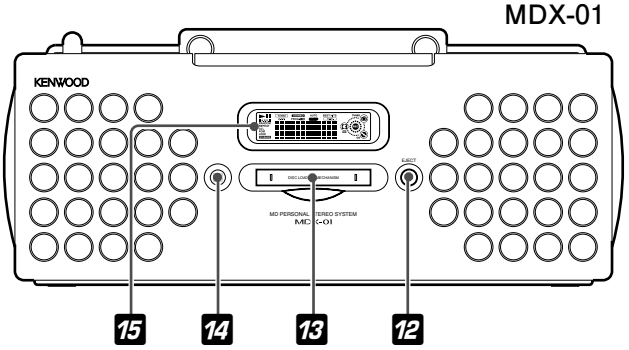
POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

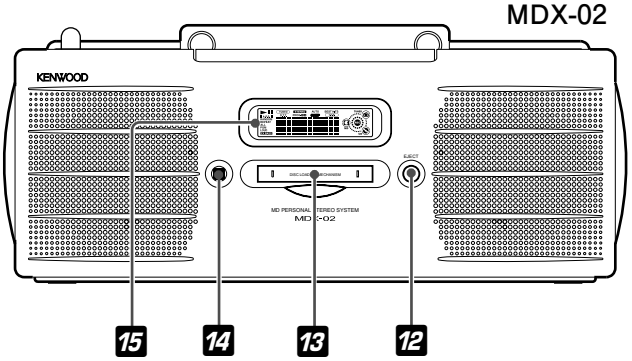
各部の名前

前面

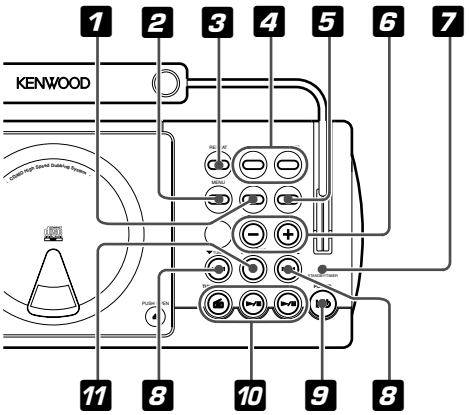
MDX-01



MDX-02



上面

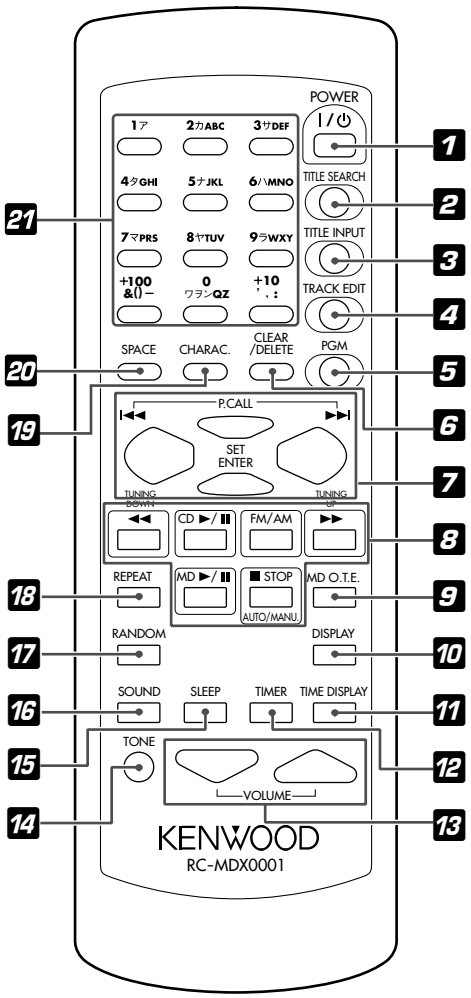


1. SET(セット)/DEMO(デモ)(2、14)
2. MENU(メニュー)(14)
3. REPEAT(リピート)(31)
4. BEST(ベスト) HITS(ヒッツ)(37)
   MD REC(レック)(33)
5. SOUND(サウンド)(29)
6. VOLUME(ボリューム)/UP(アップ)(+)、
   VOLUME(ボリューム)/ DOWN(ダウン)(−)
   (14、18)
7. STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)インジケーター(69)
8. ▼TUNING(チューニング)▲ ,I◄◄, ►►I(スキップ)
9. POWER I/⏻ (電源)
10. TUNER(チューナー) FM/AM ( )(15)
    CD ►/II(再生/一時停止)(18)
    MD ►/II(再生/一時停止)(20)
11. STOP(ストップ)■(停止)／TUNE(チューン)
    MODE(モード)(23)
12. ▲EJECT(イジェクト)(取り出し)(21)
13. MD挿入口(20)
14. REMOTE(リモート)(リモコン受光部)
15. 表示部

カッコ内の数字は参照ページです。

リモコン

本体部と同じ名称のキーは本体部と同じ働きをします。



1 POWER I/⏻（電源）
2 TITLE SEARCH(32)
3 TITLE INPUT(38)
4 TRACK EDIT(43)
5 PGM(30)
6 CLEAR/DELETE(30、38)
7 I◀◀ P. CALL ▶▶I(スキップ)
SET(38)
ENTER(39)
8 ◀◀/TUNING DOWN
▶▶/TUNING UP
CD▶/II(再生/一時停止)(18)
FM/AM(22)
MD▶/II(再生/一時停止)(20)
■STOP(停止)，AUTO/MANU.(23)
9 MD O.T.E.(25)
10 DISPLAY(27)
11 TIME DISPLAY(27)
12 TIMER(51)
13 VOLUME(18)
14 TONE(29)
15 SLEEP(58)
16 SOUND(29)
17 RANDOM(31)
18 REPEAT(31)
19 CHARAC.(38)
20 SPACE(39)
21 数字キー(17)／文字入力キー(38)

カッコ内の数字は参照ページです。

スタンバイ状態

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。この時、リモコンで本機をオンできます。

STANDBY/TIMERインジケーターの表示と本機の状態

インジケーターの状態	本機の状態
消灯	電源がオンの状態になっている。
赤色の点灯	電源コードを壁のコンセントにつないでスタンバイ状態になっている。
緑色の点灯	タイマーが実行状態になっている。
緑色の点滅	タイマー設定がエラーになっている 、または時計が設定されていない。
赤色の点滅	電気系統の故障です。点検、修理を販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

MEMO

MEMO

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

● 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
（大阪）電話（06）6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）

● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。